

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（397）
2. 日 時：令和4年10月6日 13時30分～15時55分  
16時05分～18時00分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、片桐主任安全審査官、宮本主任安全審査官、  
秋本安全審査官、小野安全審査官、大塚安全審査官、  
上田審査チーム員、長江技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他10名

原子力事業統括部 原子力安全推進グループ（担当課長）※、他6名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 「2次冷却系からの除熱機能喪失」
- （2）設置許可基準規則 第五十四条（使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備）技術的能力審査基準 1. 1 1（使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等） 適合状況説明資料
- （3）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（重大事故等対処設備）2. 1 1 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備【54条】（SA54 r. 4. 0）（令和4年8月31日提出資料）
- （4）泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7. 1. 1 2次冷却系からの除熱機能喪失（SAE711 r. 4. 0）（令和4年8月31日提出資料）

- (5) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7. 1. 2 全交流動力電源喪失 (SAE712 r. 4. 0) (令和4年8月31日提出資料)
- (6) 泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 1. 11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等 (SAT111 r. 4. 0) (令和4年8月31日提出資料)
- (7) 泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 2. 11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備【54条】(SA54-9 r. 4. 0) (令和4年8月31日提出資料)
- (8) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7. 1. 1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711-9 r. 4. 0) (令和4年8月31日提出資料)
- (9) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7. 1. 2 全交流動力電源喪失 (SAE712-9 r. 4. 0) (令和4年8月31日提出資料)
- (10) 泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 比較表 1. 11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等 (SAT111-9 r. 4. 0) (令和4年8月31日提出資料)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	それでは時間になりましたので本日のヒアリングを始めたいと思います。本日は、北海道電力泊発電所3号炉の設置変更許可についてです。それでは事業者から説明をお願いします。
0:00:15	北海道電力の石川でございます。本日よろしくお願いたします有効性評価とその関連する設備手順について説明をさせていただきます。よろしくお願いたします。
0:00:29	はい。
0:00:31	本日有効性評価アノ。
0:00:34	S A設備、あと技術的能力、二次系からの除熱機能喪失、想定事項ご用意してますんでこれらについてご説明します。またS B Oに関しましては、比較表を準備してますんで、比較結果を、
0:00:49	説明させていただきます。まず二次系の除熱機能喪失の有効性評価とあとS A技術的能力を
0:00:58	全体概要どういうふうになってるのかというのを説明しよう。
0:01:02	を用いて説明させていただきたいと思います。
0:01:05	まず有効性そのうち有効性評価をアオキの方からご説明いたします。
0:01:12	はい。北海道電力の青木と申します。有効性評価全般を担当しております。どうぞよろしくお願いたします。
0:01:18	それでは二次系からの除熱機能喪失について説明させていただきます。パワーポイントの表紙に書いてある通り、デービーのまとめ資料同様ですね、まとめ資料から抜粋して作成しております。またページ番号も記載して、
0:01:32	おります。
0:01:33	1ページめくってください。
0:01:36	1ページ目です。ですけれども、事故シーケンスグループの概要ということで特徴及び炉心損傷防止対策。
0:01:43	重要事故シーケンスアノ結論を記載しておりますが、次のページ、2ページの概略系統図の方で、簡単に事象の特徴を説明したいと思います。
0:01:56	上の括弧で書いてある、主給水流量喪失時に補助給水機能が喪失する事故というのが重要事故シーケンスとなっております。
0:02:04	の図の左側に、主給水ポンプや補助給水ポンプがありますけれどもこれらが機能喪失することにより、S Gを蒸気発生器を介した、二次系の除熱機能が喪失すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:16	そうすることで一次系が高温高圧状態になりますが、右側にある高圧注入ポンプAとBの高圧注入ポンプを起動し、また、
0:02:27	図の真ん中ですかね、加圧器逃がし弁という弁を開けることで、一次系を強制的に減圧しつつ、高圧注入ポンプで炉心に水を供給することで、炉心損傷を防止するというのが事故の
0:02:40	概要になります。また長期対策として右下に書いております、A Bの余熱除去ポンプを用いた49による冷却をすることで長期的に炉心安定状態に、
0:02:52	導けるということになっております。
0:02:56	続いて3ページお願いします。
0:02:59	対应手順の概要ですけれども、左上、解析上の時刻0秒で主給水流量が喪失し、原子炉がトリップします。その後下に流れまして約22分というところですべての蒸気発生器の広域水位が0%ということでSGが蒸気発生器がドライアウトすると。
0:03:18	その5分後に、運転員による非常用炉心冷却設備作動信号の手動発信による高圧注入と、加圧器逃がし弁を強制的に開放することによるフィードアンドブリードと、
0:03:29	いう操作を行いまして、炉心損傷を図っていくと。
0:03:33	炉心損傷防止を図っていくということになります。
0:03:36	またフロー図、このフロー図ですけれども全般的に、右下の通り、通り、回復は回付解析上考慮せずという形で、開催解析上は考慮しないものも、フロー図にはしっかり落とし込んでおります。
0:03:48	次のページお願いします。
0:03:52	前のページから流れてきまして上のところで、
0:03:56	蓄圧注入動作確認し、燃料取替用水ピットが設定数になれば、再循環器から高圧再循環に切り換えましてフィードアンドブリードを継続すると。
0:04:07	引き続き、
0:04:09	フィードアンドブリードを継続しまして、
0:04:11	余熱除去系による冷却操作が可能な状態になりましたら、余熱除去系による冷却を開始し、フィード&ファンブリードを提出すると。
0:04:20	引き続き余熱除去系による冷却を継続することで、原子炉安定状態。
0:04:26	安定停止状態に、
0:04:27	ここキープするという形になっております。
0:04:31	続いて5ページお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:35	ここからは主要解析条件ですけれども、解析コードにはNRELAPVというコードを使っております。また初期条件ですけれども、炉心熱出力、一次冷却圧力、
0:04:46	一次冷却材平均温度については、
0:04:50	ATWSを除くんですけれども全事象、
0:04:53	評価結果を厳しくするように、初期の定常誤差を考慮した、高めの値、保守的に高め値に設定しているということになります。
0:05:01	また炉心崩壊熱は、泊3号機、MOX燃料使用しておりますので、
0:05:06	ウランプルトニウム混合酸化物燃料装荷を考慮した崩壊熱を用いております。
0:05:12	下の事故条件ですけれども、外部電源について記載しております。
0:05:16	ガイドに従い影響の有無を考慮して、それぞれの事象で外部電源のありなしを設定しております。
0:05:22	二次系除熱機能喪失ですと、外部電源、右側の条件設定の考え方のところなんですけれども、外部電源がある方が、
0:05:30	一次冷却材ポンプの運転が継続され、蒸気発生器一次側と二次側の熱伝達促進により、
0:05:36	蒸気発生器ドライアウトが早くなり、
0:05:38	炉心崩壊熱が大きい状態でフィードアンドブリードを開始することから、
0:05:42	炉心冷却上厳しい設定と、
0:05:44	いう考えのもと、
0:05:45	深い便宜あり条件で解析しております。
0:05:48	続いて6ページをお願いします。
0:05:55	こちらは、上から二つ目ですかね、高圧注入ポンプに関しては最小の注入特性ということで、評価が厳しくなるように、最初の注入特性で背を設定しております。
0:06:07	また一番下ですけれどもフィードアンドブリード開始ということで先ほどご説明した通り、蒸気発生器広域水位0%、ドライアウトSGドライアウトから5分後にフィードアンドブリードを開始するという条件で解析を行っております。
0:06:20	次7ページをお願いします。
0:06:26	こちら、概略系統図ですけれども、下に米印で書いてある通り、吹き出し、赤枠は、各SA設備と技術的能力審査基準、設置許可基準規則との関連性を示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:40	今回フィードアンドブリードということで、ここに記載している条文、技術的能力審査基準の
0:06:47	衛生基準、
0:06:50	が関係するんですけども今回は代表的に、この後、引き続き 1.2、45 条について説明させていただきます。
0:06:59	次お願いします。
0:07:02	長期対策としては繰り返しなりますが、右下にある余熱除去系を用いた冷却を行うと。
0:07:07	ここでこちらも 1.415 条に紐づいております。
0:07:11	次お願いします。
0:07:14	9 ページから主要なパラメータの解析結果に、
0:07:18	なります。こちらは一次冷却材圧力を示しております、
0:07:23	二次冷却系の除熱機能喪失真下の枠のところですけども一時的に上昇し、約 16.4MPa に到達するんですけども、フィードアンドブリード、約 27 分で開始することにより、
0:07:36	圧力が下がると。
0:07:38	その後は、
0:07:40	それ以下で最高値を下回る形で推移しまして、
0:07:45	小、
0:07:46	評価項目である、原子炉圧力、原子炉冷却圧力バウンダリにかかる圧力というものが、最高使用圧の 1.2 倍を下回るということを確認しております。
0:07:57	続いて 10 ページですけども、
0:08:01	こちらは一次冷却系、一次系の保有水量と一次冷却材運動を示しますが 100 分、
0:08:09	の間での解析結果で、原子炉が安定した状態なってるというのを確認してるものです。次 11 ページお願いします。
0:08:20	左の原子炉容器内水位というところ縦軸 4 メートルのちょっと下のところに炉心上端という破線を示しておりますがこちらを、
0:08:29	下回ることなく、炉心は完成した状態になっているということで右のグラフ、燃料被覆管温度ですけども、炉心が冠水状態にあることから、初期値約 308 度以下にとどまり、
0:08:40	基準である 1001200 度を下回っているというのを確認しております。
0:08:44	次、12 ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:49	こちら二次系のパラメータですけれども左の図が蒸気発生器の推移を示しております、
0:08:55	約 20 分、22 分ですかね、のところで広域水位 0%、SG ドライアウトで、
0:09:01	頭になってるというのを解析からもしっかり確認しております。
0:09:06	次、13 ページをお願いします。
0:09:11	ここからは解析コード及び解析条件の不確かさの影響評価ということで有効性評価の各事故シーケンス、それぞれ不確かさを確認しておりますここではちょっと 1 例を、
0:09:22	示しておりますけれども、この様々な、
0:09:26	パラメーターなり、所解析条件なんかで、不確かさを確認し、
0:09:31	評価項目となるパラメータ的影響が小さいことを確認しております。次 14 ページをお願いします。
0:09:42	こちらは感度解析の 1 例ですけれども解析条件の不確かさとして、高圧注入ポンプを 2 台から 1 台にした場合の影響確認を行っております。
0:09:53	実線が高圧集注入ポンプ 1 台の時の解析結果でして左の原子炉容器の水位を見ると、一時的に炉心上端を下回っておりますが、右側の燃料被覆管温度を見る限り、
0:10:06	ちょっと上がるだけで、初期値程度ということで、大きな影響はないと。
0:10:12	いうことを確認しております。
0:10:15	また、次の 15 ページでは、操作時間余裕の把握としましてフィードアンドブリード SG ドライアウトから 5 分で、ベースケースでやっておりますけれども、
0:10:25	さらに 5 分おくらせた十分でやった場合の感度解析を実施してます。
0:10:30	破線、グラフの破線が 10 分、SG ドライアウトから 10 分の解析結果でして先ほどの高圧心ポンプを 2 台から 1 台にした時と同様、
0:10:40	一時的に炉心上端を下回り、水位が炉心上端下回りますが燃料被覆管温度の状況はわずかであることを確認しております。
0:10:49	次、16 ページをお願いします。
0:10:53	必要な要員及び作業項目ということで、右の表でそれぞれ必要な作業及び要員を確認し、泊発電所の発電所災害対策要員 33 名に対して合計 7 目、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:09	プラス、何か本部要員の三名の合計 10 名ですね、10 名で対応できるということで、事故収束作業に必要な要員が確保でき、できるということを確認しております。
0:11:19	次 17 ページをお願いします。
0:11:23	こちら、対応手順と所要時間といわゆるタイムチャートになりますけれども、
0:11:29	真ん中辺りですかね、フィードアンドブリード操作ということで、フィードアンドブリードが、解析上記載している約 27 分、SG ドライアウト 22 分+5 分の 27 分で確実に実施できるというところを確認しております。
0:11:44	また、こちらフロー図同様ですね、タイムチャートにも、解析上考慮しない手順なんかもしっかり考慮した上で、作業が成立するというところを確認しております。
0:11:54	最後 18 ページをお願いします。
0:12:00	必要な資源の評価ということで、有効性オカダ水源、燃料、電源に関する 7 日間、大丈夫だよという評価を行っております。ここに記載の通り、
0:12:10	いずれ、いずれ、いずれも 7 日間、中古対応に問題がないということを確認しております。
0:12:16	非常に駆け足になってしまいましたが二次系からの除熱機能喪失については以上となります。
0:12:25	はい。節ご説明ありがとうございました。ちょっと今後の説明なんですけどもう効率化の観点で、もう先行との
0:12:35	朝、先行 PWR との、何か特徴。
0:12:38	泊の特徴的なところがあれば、そこぐらいでも大丈夫ですので、効率的に進めていきたいと思えますすいません規制庁秋本です。
0:12:48	はい。それで、そしたら、比較表の方は、特段説明で、
0:12:57	何かあります。
0:12:58	特になければ
0:13:01	私の方から聞いていく感じでよろしいですかね。
0:13:07	はい。北海道電力の青木です。2 時からの除熱機能喪失に関しては、大井泊、高浜アノ同等となっておりますので特段、泊特有というものはないと思っております。
0:13:17	以上です。
0:13:19	はい。そうしましたら規制規制庁秋本です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:13:25	比較表のですね前の方についている、比較対象プラントの選定についてという紙からちょっと気づきたいなと思う。
0:13:35	てますと、すみませんこれは内部向けではあるんですけど、私、1ページ聞いてきますので、何かその都度引っかけたら、そのページで止めてもらって大丈夫ですので、はい。お願いします。
0:13:48	で、比較対象プラントの選定についての上井の1ページ目なんですけど、
0:13:55	1個目の報通は良くて2個目のポツで、確認をしなくて、一応炉型によらず共通的な内容については女川2号をちょっと飛ばしますけどが2号を比較対象として、
0:14:12	先行審査知見の取り込みを行うということで最新審査実績を取り込むんですっていう。
0:14:20	認識なのかなあと思うんですけど、炉型による違いがないものは、最新の整理に合わせて、まとめ資料を作っていくっていう方針で、
0:14:30	いいっていうことでよろしいでしょうかね。
0:14:34	はい。北海道電力の青木です。後程、想定事故の方で比較表を名が並べた形でちょっとご紹介したいなと思うんですけども有効性評価基本的には
0:14:44	事故シーケンスの特徴や評価条件不確かさ評価結果。
0:14:48	燃料資源の評価という形で項目を横に並びまして、二次系からの除熱機能喪失に関しては事故シーケンスの特徴がSGを使うということで全然ちょっと区長が違うところで女川並べていないんですけどもその他の事故シーケンスで女川しっかり見てますのでそこで、
0:15:05	もし二次系からの除熱機能喪失も共通的に反映できるものがあれば反映するというスタンスで、資料を作成しております。以上です。
0:15:15	はい。
0:15:16	そういう認識のもとを進めていきたいとは思いますが、Dの方だと、それこそ文言を一つずつ確認してなんすかね構文だとかの。
0:15:32	差分は見て、その上で反映する反映しない。
0:15:38	ていうところをやっていると思うんですけど、で、
0:15:41	DBはそれでやっていて、SAは、そうそうではないんですけどっていうような雰囲気、見えたところがあるんですけど。
0:15:51	SAもう当てというよりは、すみません、DBがそういうスタンスでやっていて、私もヒアリング出ているんですけど、そういうことをやっていて者として、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:04	DBとSAでそういう記載の考え方っていうのは、ぶれないんじゃないかなと思ってんですけど、そういうことでいいですよ。
0:16:23	そうですね。はい。会社として、ということですけども、DBとSAで、別々な対応になってるっていうことにはならないと思いますので、しっかりそろえていくというふうに考えてますけど、何か社内で、
0:16:36	意見、これだけはちょっと伝えておかなければいけないってことありますか。
0:16:42	エスエーはデービーと。
0:16:44	違うやり方でしか対応できないっていうこと。
0:16:48	いいですか。はい。
0:16:59	北海道電力田口です。今お話いただいている内容ですけども、やはり先ほど青木から出た通り、やってることが全く違うものをSEが並べ、
0:17:08	でも、比較対象としてそぐわないというふうに考えて、まずいます。そういうところDBでやってるような審査書、審査中でね、申請書、
0:17:19	の記載ぶりまで含めて、どうやって確認していくかっていうところなんですけれども、今比較表の形式で示すという形では必要なものを取り込んでいますと。
0:17:29	ということしか今お話できないんですけども、先ほど来何か必要なものを取り込みますと言っていますので、その我々のやった様を、何かしら確認できるようなものを出して、
0:17:40	女川のこういう点は我々は取り込みましたこれは取り込んでませんみたいな議論できるものを用意してSEは、
0:17:46	ちょっとあの、記載ぶりの方は確認していこうかなと思っていたんですけども、
0:17:51	ですので今お話。
0:17:54	したいのは、有効性評価の既存の評価、既存評価っちゃうか大分前と変わってないんですけど、
0:18:00	それできちんと要求事項を満たしていますということと、プラントがきちんとして止まりましたという何か大枠のところをまずご理解いただいて、
0:18:08	あとこの後、技能等、
0:18:11	許可基準の要求事項に対して、
0:18:14	整備しなさいって要求されているものがきちんとして整備されているというようなところを確認した上で、細かいところをどうやってチェックしていくかっていうのはちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:23	ある程度この大枠の説明を進めていった後に、お話、また相談して進めたいなと思っておりました。以上です。
0:18:32	規制庁秋本です。お考えは理解はしたところなんですけど、もはや私もこの資料を見させていただいて、結局、
0:18:44	何ていうんでしょう、炉型の何ていうんでしょうね、大きな論点っていう意味は意味ではない。
0:18:54	と思われるんですねそれっていうのは、その何ていうんでしょう。
0:19:00	二次系除熱 I I に関して言わしていただくともうもはや先行 P との差分って、設備名称とか、そういったところぐらいのかなと思うので、結局、
0:19:13	一応見ていかなきゃいけないのっていうのがまとめ資料の記載プリの確認になってくるんですね。だから、そういう意味では
0:19:22	公文だとか、そういった C レベルで、どうなのかなっていうのを、今こここれから聞いていこうとは思っていますと、何つうん
0:19:35	準備してって言っていただいたんですけど、ちょっともう、もうそのフェーズ
0:19:40	に到達しちゃっているはずなので、だから、ちょっと細かい文言合わせに近いところまでこれから見ていきますと、
0:19:50	ということで、ちょっと最初に確認したかったのは、
0:19:55	結局そういった公文だとかの合わせについても、女川の、
0:20:01	最新の実績っていうのは反映していかなきゃいけないと。
0:20:08	入社としての方針だと、いうことは、理解しましたと。
0:20:14	その上でだからなんていうね、P として書かなきゃいけないところとか、B 層のままじゃ駄目なところっていうのは、当然あるとは思っているんで、
0:20:24	その差分はもうどうしてもしょうがないかなというところですね。ただ今出されているものか、最大、最大限
0:20:34	精査されているものだとちょっと見えなかったんで、
0:20:38	そこについては、
0:20:43	改善をしなきゃいけないなっていうのが、今のところの認識キーなんですけど、
0:20:52	多分今田口さんがおっしゃっていただいた通り、
0:20:56	少し、
0:20:57	なんすかね文言レベルでの合わせっていうのはできていないっていう認識でいっていただけてるのかなと。で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:07	嘘。
0:21:08	とっていてちょっとあれなんですよねもうちょっと先行くと。
0:21:13	ごめんなさい。
0:21:18	この横野比嘉空の比較対象プラントの選定の詳細、
0:21:25	のところだと。
0:21:29	そっか、二次系除熱は書いてはいないんですけど、細かい文言の精査は しないっていうような言葉が書いてあったりするシーケンスが、
0:21:39	あった。
0:21:40	ので、いやいやそうじゃないんじゃないですかと。
0:21:44	いうところが、
0:21:47	ありますよっていうのだけは、今、最初に前段でお伝えをしておきたい と思います。っていうそういった意味で、
0:21:58	すみません、北海道出てくるんですけど、お話の途中ですけど、いいで すか。今お話いただいている認識と、
0:22:06	我々の認識も大きくずれてないと思っております。というのは
0:22:11	技術的に同等の内容であれば、積極的に女川の記載に合わせ込むという ような処置は今、S Aの分野のところはまだやってません。
0:22:20	ですので、同じような、
0:22:23	説明があって、構文の何ていうんすかてにをはの使い方とか、書きぶり みたいのところまで合わせたかというところではなくて、これと同じこ とを我々はもう説明ができてから、このまま行こうという形で今、
0:22:36	お出ししている状態になってます。
0:22:39	たださは認識していますので、
0:22:42	その部分を、
0:22:44	どこまで合わせるついたらおかしいんですけど、
0:22:47	そこを
0:22:49	今後、お話していかなきゃいけないなと思っております。
0:22:54	規制庁秋本です。わかりました。それ横に並べたらすぐわかる話だとは 思うのでご認識されているとは思んですけど。
0:23:02	だから、もうそこですよそこをいかに合わせ合わせ込むって言い方し てあれなんすけど最新の図整理とか審査実績を取り込むっていう話をし ているので、
0:23:16	当然やっていかなきゃいけないなっていうところですね。だから二次系 除熱なんかは長い、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:23	並べてはいないんですけど、おそらく構文だとかその説明エブリっていうのは、また他のシーケンスを合わせていけば、おのずと合うことになっちゃうかもしれないんですけど。
0:23:35	はいんだということだから、今ちょっと聞いてて、安心はしたんですけど、これからやっていくおつもりはあるっていう。
0:23:44	ご認識だったので、
0:23:47	何かそれほど、
0:23:50	違う方向を向いてるわけではないのかもしれないっていうのが、今ちょっと率直な感想ですね。
0:23:56	都築。
0:23:59	ちょっと1ページ目はそんなもんで認識の確認で別紙1でつけていただいているそのプラントの一覧。
0:24:07	については、
0:24:14	と、例えば一番最初、CV温度圧力とか二次系除熱でもいいんですけど、
0:24:23	一応比較対象として、高浜大飯って書いてくれていてで、こうなっているんですけど、
0:24:32	ちょっと気になったのは他のすPWRはPWRも当然事業者として何か把握して、
0:24:42	見ているっていう理解でいいですよ例えばなんか、
0:24:46	馬場大井しか書いてないけど、いい方だとかもうもちろん見ててっていう理解でよろしいですよ。
0:25:00	はい。北海道電力の大木です。後程SBO、全交流動力電源の比較表の中でもご説明しようと思っておりますけども所々高浜大飯と違うところ、青字や緑で記載しているところあります。そこに関しては伊方を見ましたよってことで伊方と同様という形でしっかり、
0:25:17	伊方なんかも見て、我々としていいものを作ったというふうに思っております。以上です。
0:25:23	はい、わかりました。
0:25:27	見ますと、少し補足させていただきますと高浜のスリループで参照しているんですけども大井をホールである中アノ、どうしてこう選定してるかっていうのは、
0:25:37	Pとして最新のものを、と比べることでいい方等を見てるってのもありますけども、最終形と比較することで、Bを総ざらいしたいというふうな意図も込めてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:50	はい。
0:25:52	規制庁秋本です。そうしましたら、次、このページはそんなもんで、次の作成状況のタグですかね。ええ。
0:26:05	比較表に関わるすべて、
0:26:11	ステイタス整理表ですかね。
0:26:17	はい。これ、これがあってこれは、
0:26:23	添付資料、本文も一応書いてくれて添付資料がこうあって、
0:26:30	翁長若生ですけど。
0:26:33	比較表は作りませんよっていう宣言をしている。
0:26:37	表なのかなと思って見てたんですけど、
0:26:41	結局何かその添付資料って、私も理解してるんですけどBと比較しても、内容違うから意味ないじゃないですかって言われたら、いやおっしゃる通りだと思って、
0:26:52	正しい先行Pとの従属性、17、十分性というか、ていうのは、効率化の観点から比較表があった方が、
0:27:05	わかりやすく
0:27:06	皆さんは、
0:27:08	事業者の方で比嘉工夫はされて、十分だということだと思ってるんですけど。
0:27:14	これは、先行のPとの差分についての比較表は、
0:27:20	作る気はないっていうことなんですか。
0:27:34	柴田です今ご指摘いただいたのは整理表としてはちょっと大木が勘違いしたのは整理表として同じ添付資料は作ってるってことを今大木。
0:27:45	説明したんですけども今ご指摘いただいたのはそうではなくて添付資料として、比較表の範囲を拡大してPとの差異がないってことを効率的に審査できるように提示してはというふうなご指摘と、
0:27:58	とらえました。内容的には
0:28:00	今沖が
0:28:03	申し上げた通り、
0:28:06	充足していると我々考えて足りない添付資料がないかというのはこれと同じような政策表で多いと最新のものと比べてないという確認をしてるんですけどもちょっと比較表、
0:28:17	同程度のものは使って内容的にも同程度のものを作ってるって確認をしてるんですけども比較表の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:23	形で示してきてないっていうふうなのが現状ですんでそこをどう効率的に審査するかっていうふうなところをちょっと、今ご指摘いただいた課題があるかなというふうに、
0:28:35	考えました。
0:28:36	規制庁アキモトです結局不比較表がないと、いちいち、我々、審査官から期間聞かないといけないことになっちゃうので、皆さんもいちいち説明しなきゃいけなくなっちゃうので、もう、
0:28:50	紙があれば、これですよっていうだけになるんで、ちょっと検討いただければと思いますただ、
0:28:58	不確かさ
0:29:00	営業評価の表あるじゃないですか。あんなのはちょっと辛いかなと。比較表の形式にしたところで、我々も見えんなんすかね。見れないので、
0:29:11	そこはちょっと工夫があるかなとは、
0:29:14	思ってますので、ちょっとご検討いただければと。
0:29:19	思います。
0:29:20	はい。北海道電力の青木です。添付資料に関しても比較表を作成する方向で検討したいと思います。以上です。
0:29:32	はい。
0:29:32	規制庁アキモトに続きまして1ーシバタです。すいません今の点でちょっと確認をさせていただきたいんですけども今のご指摘いただいたやはり添付資料に関してはPB
0:29:45	事象の違う中で、例えば、
0:29:51	考え方を、
0:29:53	比較するとなるとBを比較するってのはちょっとつらいなというふうに、
0:29:57	思ったのでそのあたりの意図を確認させていただければと思ったんですけども。
0:30:00	規制庁秋本ですそういう意味ではステータス表っていうのが、まずは、女川との差分は、タイトルベースで見ることができますと同じものを作っていないだったら当然、
0:30:15	中身なんか比較してもしょうがないんで、これで女川切れますと。
0:30:20	あとは、Pの中身の話になるから、Pと、先行Pで並べましたっていうロジックじゃないかなって感じですね。
0:30:31	ご招待ありがとうございました。
0:30:36	で、規制庁アキモトですそうで、比較範囲の話ですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:47	これが、
0:30:49	ページはないけど作成範囲の話、
0:30:56	と本文はマースあれで添付資料が、今お話した通りですね、というところだと、
0:31:05	補足説明資料、
0:31:10	これ何でしたっけ補足説明資料はまとめ資料、アサックス女川特有だから比較表もない。
0:31:18	付録とか別紙とかってことですか。
0:31:23	正確には把握しきれてないんですけども、BWRからつくようになった資料でして、東電さんに聞いたところ審査会合で説明した資料のうち添付資料には上げなかった格上げしなかったようなものを取りまとめた。
0:31:39	資料になってるということで聞いております。
0:31:46	うん。わかりました。規制庁秋本です。
0:31:49	そうすると、補足的な説明資料は、
0:31:54	ただあれですかね、この辺の補足的な説明資料もう当然見て、
0:32:00	いて、PBというか、泊に反映しなきゃいけないものっていうのは、あるなしっていうのは見えますから。
0:32:09	はい。北海道電力の青木です。おっしゃる通りでして中身、確認しております。その中でも、PD共通的にいえるものとして、FFRDという燃料関係の事象とかですね水素再配向に関する事象なんかは、
0:32:23	泊にも共通的なことが言えますので、泊は補足説明資料という形でまとめて添付資料という形で、LOCA事象のところにつけさせていただきました。
0:32:33	以上です。
0:32:35	規制庁秋本です。わかりました。では、同等性というか同等のものは、ついているってことは確認しているってことですね。はい。
0:32:44	わかりました。
0:32:46	そこは福田芝先生今のちょっとアオキの説明に
0:32:51	補足させていただきますけれども同等のものをついてるか確認した結果今述べた二つについては泊としてはちょっと足りないだろうという判断のもと、追加したというのが実態でございますので、
0:33:04	確認したという事実はその通りなんですけども追加してるっていうのが実態でございます。
0:33:10	規制庁アキモトそしたらじゃそのときに、同等なものをつけてるんですっていうの説明をするようにしていただければ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:33:18	こちらも認識ができるかなと思いますので、はい。
0:33:22	で、次のページっていただいて、
0:33:27	クーラーン、補足説明資料は、プラント固有だからっていう解析コードは
0:33:34	公開文献化してますよってことで、
0:33:38	あと付録の4なんですけど、
0:33:41	これは、女川で議論したDFのはなCなのかなと思ってんですけど、 ここの、
0:33:50	ところ少し聞いておきたいなと思ったんですけど、一応今は、泊は
0:33:57	なんすかねDF1っていうか、今までと変わらない評価で持ってきているのかなと思うんですけど、女川の議論で、
0:34:07	何ていうんでしょう。
0:34:08	余りにも保守的すぎずに、可能な限り、
0:34:13	んなんですかね、ベストエスティメートじゃないですけど、
0:34:16	持っていきましょうという方向で議論をしてやって、
0:34:21	きて、
0:34:22	る一わけですよ。それ
0:34:27	お聞きしたかったのは、
0:34:29	PとBで議論した内容ってというのが、Pでも同じようにできるのかどうか、要は、炉型の違いとかだったら
0:34:40	当然ははじけるっていうのは、
0:34:43	違う整理ですよっていうのはいえると思ってんですけど、
0:34:47	最新実績取り込むって言うておいて、
0:34:52	何でできないのっていうのは、
0:34:56	喜多土岐新居。
0:34:57	例えばだから実験データありませんだとか、
0:35:00	何かそういった、
0:35:03	明確な違いとかがあってあるんでしょうか。
0:35:10	はい。北海道電力の青木です。私、そこまで詳しくはないんですけどもおっしゃった通り何でもかんでも保守的にやればいっていいものではないという議論からBWRさんの方で合同で取りまとめた資料というふうに理解してます。
0:35:25	ただ一方PWR、おっしゃっていただいた通りDF1というという厳しい結果で各社さんやってまして、まとめとしてはまずはこれでいいかな

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	とは思ってはいたんですけども、公開文献BWRさんのこの付録4を確認したところNUPECの試験結果等から貫通部の
0:35:42	様々な何て言うんですかね、僕ちょっとあまり詳しくないんですけどベローズとか計測器のそういうものからいろいろ評価してるんですけども、
0:35:52	確かBWRの主NUPECは基本的に試験結果だったと記憶してまして、ちょっと
0:35:59	違うかな。
0:36:01	その結果がそうであっても今こそご指摘いただいているのは、そのBの考え方は最適な評価でやれ、やるっていうふうなことで、
0:36:12	取り込んだ時にちょっとなかなかこう、
0:36:15	P、
0:36:16	は、高DFの貫通部からの漏えいの少ないところを1っていうのは、全く
0:36:23	DF取れないっていうのは、余りにもコンサバっていうのは否定できないかなというふうに思っている一方でちょっとPで行為者だけ公表異なるっていうふうなのもちょっと、
0:36:32	いろいろ判断をこうした上でこう進めなければいけないところもあるというふうに考えてございますんでちょっと、
0:36:39	この場で、
0:36:41	DFの方向性についてちょっとお答えするよりは、お考え。
0:36:46	検討させていただきたいというふうに。
0:36:50	わかりましたご検討いただければと思うんですが、Bの経緯も踏まえた上で、
0:36:58	やっていただければいいのかなとただそういう意味では、Bだって女川あまB電力全体ではやっていましたけど、女川2の許可にしか反映していない状況ですよ。
0:37:11	だから、何ていうんでしょう。
0:37:13	そんなに違和感ないっていうか、泊だけ抜けてちゃうけどっていう話には、
0:37:20	なるん。
0:37:21	のかどうかも含めて、ちょっとご検討いただければなお同じベースで議論ができるのであれば、
0:37:31	やる必要があるものにノミネートされてるかなと思うので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:38	D F 絡みんに詳しい方は、今日はいらっしゃらないということで格納容器関係の人がいない。
0:37:45	ということです。
0:37:47	はい、わかりました。
0:37:49	そしたらじゃちょっとそこは、持ち帰ってもらってちょっと検討してもらって同じことがいえるのかどうかって言うところの観点で、精査をお願いします。
0:38:02	はい。前段ちょっと中身に入ってなかったですけど昆虫細野他、前段の整理でよろしいですか。はい。
0:38:11	すみませんちょっと長くで。はい。
0:38:14	そしたら比較表の中に入っていて、
0:38:19	聞きたいと思うんですけど。
0:38:21	比較表はですねちょっと、
0:38:23	それこそ先ほどの文言、
0:38:26	という話があったレベルでちょっと、
0:38:30	コメントというか、質問をしていきたいと思ってますと。
0:38:35	取りまとめた資料の2、2ページですかね、2ページ見ていただいて、
0:38:47	差異の説明をするときなんですけどちょっと2-4の主な差異のところで、
0:38:53	何かP、
0:38:54	PCT書記、泊のところですけど1原料審査PCT初期値と同程度って書いてあって、同程度、
0:39:04	ああそうか中身本部も初期値と同程度でありって書いてあって、同程度って、
0:39:11	もう余りにもちょっと定量的じゃねえなって思ったところがあって、これって、この記載が、
0:39:20	先行Pとかの記載なんですとかね。
0:39:24	はい北海道電力の和気ですちょっと確認したいと思うんですけども泊だけ独自にこういう記載してるってことはまずないと思っております。
0:39:34	規制庁秋谷です。わかりましたそしたら、有効性評価あって、基本的に、
0:39:41	可能な限り定量的に書く。
0:39:44	必要があるかなと思うので、ここもちょっとご検討いただけますかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:51	はい。北海道電力の青木です。職種、先ほど説明した通り約 380 というのを示しておりますので定量的に書く方向で検討したいと思います。以上です。
0:40:01	規制庁秋本です書き方は工夫があるかなと思うんですが、別に同程度っていうのを崩したくなければ括弧で書いていただいても全然いいのはい。そんな感じですね。
0:40:11	で、2-5 の市債の識別の省略なんですけど、
0:40:17	ここの観点についてはもう差異の理由は書いてきませんよっていうことだと思っはいるんですけど、これのそもそもの理由がちょっとよくわからなくて、
0:40:29	一次系と一次冷却系は節B名称の値がいいっていうふうなのかなと思ったりもしたんですけど、減少だとか低下とか、
0:40:41	わあ、これが、
0:40:45	何ていうんでしょう、単なる主義的なものであれば、な税。
0:40:50	変えるのという話になっちゃうので、
0:40:53	ここは何か理由って明確な理由はある、ありますか。
0:40:59	はい北海道電力の青木です。これ、当時ですね高浜 34 号と 2 月 3 号と泊さんと 2016 年 17 年と起振さしていただいた時にいろいろ、
0:41:09	見た結果こっちの方がより適切だよねということで最適化した部分でございます減少低下や作動動作なんかですね、なので明確に何か理由があるかと言われるとすいませんちょっと一つ一つ確認して、
0:41:25	ちょっと整理させていただきたいなと思います。
0:41:28	規制庁アキモト磯、それはあれですか、規制庁からのコメントですか。
0:41:34	一部、北海道電力大木です一部。
0:41:38	規制庁さんからのコメントもあったとちょっと記憶しております。
0:41:45	規制庁秋本です。やっぱりとりあえず経緯があるのであれば、
0:41:52	微妙なところなんですけど、
0:41:57	今って、Dの方って、
0:42:01	何ていうんでしょう
0:42:06	変える必要がないところってんと変えたら説明しなきゃいけないので、
0:42:13	使えない。
0:42:14	法でいくっていう選択肢もあるかなあと思っているので、
0:42:19	今dBいらっしやいましたけど、別にDB関係なくて、
0:42:27	必要があれば変えればいいと思うんですけど、
0:42:30	必要がないんだったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:34	変えないっていう考え方もあるかなと思ってますと。
0:42:39	だから、そこもちょっとこれがこれだけで識別の省略っていうのだけにされちゃうと、意図が読めないので、
0:42:48	何らかしら意図がわかるようにしていただければなと思います。
0:42:54	はい。かしこまりました。
0:42:59	て規制庁沖本です。そうしましたら比較表の1ページ目です。
0:43:04	すいませんちょっとだらだらやってしまいましたが、1個目の1ページ目なんですけど、少しちょっとわからなかったのがすみません、ちょっと番号だけなんですけど、これってあれですかねTAと、
0:43:17	7.1からスタートするじゃないですか。で、これはあれですか。
0:43:22	まとめ資料等、申請書とか、そういう意図ですか。比較が、数字がずれてるの。はい北海道電力大城です。おっしゃる通りでして比較表には出てないんですけどまとめ資料N〇アノ目次の一番上にですね確かその辺、
0:43:38	旨北記載したと思います泊は効率化といいますかそういう観点で添付書類10、
0:43:44	の有効成分6ポツから始まりますので、基本的考え方を6ポツにしてそれ以降、7ポツという形で記載しております。以上です。規制庁秋本ですわかりました。
0:43:55	それでもうほぼほぼ
0:43:59	(1)は何もなくて括弧2なんですけど、
0:44:03	(2)のアのところ、ここも後でSBOのところではいはいかなとは思ってはいるんですけど長期的にっていう言葉があるじゃないですか下から2行目で、
0:44:15	小令和アノBWRの時に整理してたと思うので、これBの整理、
0:44:24	整理だけなんで、高校の点とかは、注意してもらえばいいかなというところですねこれ今今岩井海藤飯野で、
0:44:34	SBOのところ少しみたいと思いますと、
0:44:38	すいません、2ページ目比較表の2ページ目行っていただいて、
0:44:48	ここはちょっとよくわかんなかったんですけど差異の理由のところ青字のところがあって各プラントの再循環を整備してるのは同様だか。
0:44:57	泊は、
0:44:59	あれでしたっけ、何か非あブースティングとかの差ですかこれは、
0:45:06	はい。青木ですけれども、高浜34号機とはそういうふうに認識しております。正直ちょっと大井さん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:16	がなぜこれを記載するかっていうのは
0:45:19	把握しきれておりません。ただ泊に関しては伊方とか川内も同様なんですけども40系で、しっかり長期的に炉心冷却可能ですので4年中計をのみを記載しているという状況です。
0:45:45	北海道電力イチタニと申します。
0:45:48	私は、SA設備側の担当ですので今有効性評価に関しては言えないんですけれども、今青字で書いてあったところで、
0:45:58	伊方2、
0:46:00	伊方にそんなことが書いてあるっていうような記載があったかと思えます。で、これはもう、その後6年前の話になりますが、
0:46:11	当時高浜にはなかったけど伊方には、
0:46:15	下へ書いて整理したというか、そういったようなものを泊には取り込んだりしました。
0:46:22	で、おそらくですけども、大飯34号機さんは、高浜34号機さんと同じように、要は高浜をリファレンスとしてやっていた。
0:46:33	そこでうちが伊方に寄せたようなところが、今、大井と差が出てるっていうようなところがですね、私が担当してるSAの方の資料なんかにも割とありまして、
0:46:47	そういう事情を、はありますというところだけまずお話しさせていただいて、どうするかは今後の相談かとは思いますが、はい。です。
0:46:59	規制庁秋本です。そうするとこれはあれですか記載だけの話ってことですか、設備的には同じ、同じということですか。
0:47:10	はい。北海道電力大木です。おっしゃる通りでして泊も高圧注入ポンプによる高圧再循環先ほど説明した通りその再循環水なれば再循環するってことで手順とかフローにも記載しておりますただここは
0:47:24	長期的な冷却の説明の部分ですのでそれが必須というわけではないという点からゆ、余熱除去系による炉心冷却というふうにのみ書いているという状況です。なので書こうと思えば
0:47:36	かけると。
0:47:38	いうところだと思います。
0:47:39	規制庁秋本です。であるとする、ちょっと今全然判断して欲しいわけじゃないんですけどちょっと検討してもらって、同等レベルであれば、
0:47:49	同等っていうのも一つあるかなと思うので、ちょっと検討していただければと思います。
0:48:08	えっと設備側は、北海道、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:21	はい。設備側に川変化があるかどうかは、ごめんなさい今パッと答えて ないですけども、
0:48:29	はい。はい。合わせて検討させていただきたいと思います。
0:48:34	規制庁秋本です。そうしましたらこのページは、少し聞いておきたいの が、すいません。
0:48:42	少し人数的なところなんですけど、ちょっと細かい話で恐縮ですが、泊 10名で、高浜18名っていうところがあって、
0:48:52	あんまり差が多いわけではないんですけど何か、
0:48:56	佐田でてる何か理由って簡単にご説明してもらってもいいですか。
0:49:03	はい。北海道電力のです詳細はですね、技術的能力とかの話になってく るんですけども簡単に言いますとこの事象で言いますと泊はシングルプ ラント3号機のみに対応を記載しておりますが、高浜はですね ツインプラント、3号炉及び4号炉同時の対応要員を示しておりますの でそこで差異が出てるということになります。
0:49:24	規制庁アキモトわかりました。はい。
0:49:26	そうしましたら3ページ行っていただいて、
0:49:34	電動主給水、上から3行目ですけど電動主給水ポンプが使用できない場 合には、
0:49:45	だからできない場合だけ、そっか、ごめんなさい。
0:49:49	そう。これをちょっと見てて、注水準備を行うっていうところなんです けど、そう
0:49:56	いや別2電動主給水ポンプが使用できない場合、
0:50:01	2注水準備。
0:50:05	を行う。何、何ていうんでしょう。
0:50:07	できない場合だけ、
0:50:09	中生準備を行うっていう考え方にこれだと読めるんですけど、本当にそ うなのかなっていうところは確認させてください。
0:50:19	すいません北海道電力の古谷と申します。技術的能力全般担当するもの なんですけども、この有効性評価の記載については、主給水ポンプが 使えない場合に、
0:50:31	S G直接給水用高圧ポンプを使うというのは技術的能力と合っている記 載になっておりますが、
0:50:39	大井も高浜も使い方としてはその水張ポンプとか大井だと、主給水ポン プっていうのが使えなかった場合に中圧ポンプから変わりますが、
0:50:50	この辺りの記載の仕方もですね、少し検討、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:55	させていただこうかなというふうに思います。規制庁秋本です。先行プラントと違いがないんだったら、同じ記載になると思うので、
0:51:06	もしちょっと可能だったらでいいんですけど、その設計の際のところさっきみたいに、伊方同様って書いてくれて伊方も見ていらっしゃるんだなっていうのはわかるので、もし、
0:51:18	何か設計の範囲で、先行のどっかからのプラントから持ってきてるものなんだっていうんだったら、括弧書きで同じようにやってくれると助かりますとこれもあれば、
0:51:30	そういう整理もしていただければと思います。
0:51:33	はい。北海道電力の青木です。基本的にはそういうふうには書いてるんですけど抜けてるところもあるかもしれません。もう一度、一通りチェックしたいと思います。以上です。
0:51:44	はい。3 ページは、あとはですね、
0:51:50	3 ページの一番下のところで、ここも違いの設計の相違なんですけど、
0:51:57	再循環運転っていうのが自動なのか手動なのかっていうところなんですけど、これはちょっと、
0:52:04	教えてもらいたいんですけど、首藤にしているプラントっていうのはほかにもあるんですか。
0:52:13	北海道電力の古谷と申します
0:52:16	関連さんのプラントですと、燃料取替用水ピットの水位で、自動切替というプラントがございます。
0:52:29	泊 3 号機の切り換えというのは 70、水位を確認いたしまして、中央制御室の操作でボタン操作で、
0:52:41	押せばですね後の弁の切り換えとかポンプの補機の起動とかは自動になってございまして、
0:52:49	ちょっと表現は悪いですけど半自動といいますかですね、ほぼ自動操作になっております。なので
0:52:56	自動切り換えと同じぐらいに、運転員のその衛藤操作負荷は大分軽減されている設計になってございます以上です。
0:53:12	北海道電力古谷です。
0:53:15	参考までですけども泊 12 号ですと手動で電動弁を、中央制御室ですけれども、操作をして、一つ一つ補記と、
0:53:25	弁を切り換えていくというプラントもございます以上です。
0:53:32	規制庁アキモトです。だから、そこは、メリットデメリットっていうのはあんまりなくて、すず単なるし、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:41	思想の問題みたいな感じですか、程度の方が。
0:53:45	やりゃん。
0:53:48	そんなところなのかな、設計上自動にしとかなきゃいけないっていうものでもないしってことですよね。
0:53:54	わかりました。
0:53:58	はい。
0:53:59	あとは、4ページだと、
0:54:06	すちょっと細かいですけど、
0:54:09	ごめんなさい、x e v o IIで赤字である以下未満の話は、
0:54:18	何、何か、これは設計思想ですか。
0:54:22	はい北海道電力フルヤてございます。
0:54:25	ここのトン以下か未満か。
0:54:30	というところは少し各電力少し確認させていただきますけども我々の実際の手順でいきますと、170度で余熱状況系を使用していくという手順になってございます。
0:54:46	なので177度未満という記載と、あと保安規定の方も、
0:54:53	177度未満というふうに記載してございまして基本的に
0:54:59	保安規定手順と整合させている記載というふうに考えてございます。以上です。
0:55:05	規制庁秋本です。特にこれが問題だとは思ってるわけではないんですけどもし差分が、
0:55:11	運用の相違で、
0:55:14	何か、
0:55:15	例えば高選考の、ここもそうなんですけどどっかの者と一緒なんですっていうんだったら括弧で入れといてくれればいいかなっていう一つの例ですね。はい。
0:55:30	はい、規制庁アキモトです。で、
0:55:34	5ページ名ですけど、5ページ目ワー
0:55:39	なおのところから始まって、
0:55:44	除熱は、再循環ファンっていうことに、
0:55:50	圧力上昇した場合でも、スプレイポンプ起動試験ですること。
0:55:58	これはあれなんすかね最終的な除熱は再循環ファン、
0:56:04	だけじゃないっていうことなんですか。
0:56:08	北海道電力古谷でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:14	再循環ファンはS A設備ではございませんで、使用できればはい、使用できれば再循環ファンを使用して強制的にC V内の
0:56:26	空気をですね循環して冷却することは可能ですが、当然これこちらが使用できない場合においてもですね、当間スプレイ系でC Vの健全性が保たれるというのを
0:56:40	伊方に合わせて記載したという状況でございます。以上です。
0:56:45	規制庁アキモトです。ああ、なるほど、S A設備ではないんですね、S A設備ではないものが、
0:56:53	入っている。
0:56:55	すいません北海道電力古谷でございます先ほどの電動主給水ポンプとかですね。
0:57:02	関連さんの大井さんでも書いてございます主給水ポンプとかですね、こちらも
0:57:11	S A設備ではないですけども我々
0:57:15	多様性拡張設備というふうに技術的能力では呼んでございますけれども、女川さんでいうその自主対策設備といいますか、
0:57:25	S Aではないんですけども自主的に設置して手順を準備している、そういう手順についても、
0:57:33	有効性評価の方で、要員の中で、可能な限りできるものは記載しているという状況でございます。以上です。はい。規制庁秋本ですわかりました。自主設備も網羅的に書くようにしているからということです。理解いたしました。
0:57:49	はい。そうしましたら続いて6ページは特段なくて、
0:57:57	7ページですけど、
0:58:01	ちょっとこれ専門これもさらに細かい話なんですけど、aとbポツ括弧Aの注入ポンプのところで、
0:58:08	2行目ですけど、炉心冷却性が厳しくなるって、
0:58:14	書いてあるところじゃないですか。
0:58:16	老人冷却を厳しくする観点。
0:58:19	これって、そっか、高に習ったってこと。
0:58:24	ですかね。
0:58:28	そういうことか。
0:58:32	こういった日本語の
0:58:34	違いは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:39	選考がぶれると、どっちでもいいっちゃどっちでもいいのかもわからないですけど、一応検討して、こう、こうなってる。
0:58:48	はい。北海道電力の青木です。おっしゃる通りです。1部分だけを何かピックアップして持ってくるとですねまた全体の整合とかもありますので、もともと泊は高浜34号機をベースに作成しつつ、伊方を見て良いところを反映しつつ今回、
0:59:04	大飯も見て作成してるというのが一応経緯になります。
0:59:13	はい、わかりました。そうしましたら、7ページは以上ですが、
0:59:19	8ページですけど、
0:59:23	8ページも、
0:59:27	ここもうなんか微妙だなと思ったんですけど気づかれてるかもしれないけどポツの
0:59:34	2パラ目の一番最後なんですけど、
0:59:38	S u i c a等、
0:59:40	が入るか入らないか。
0:59:43	これはでもあれですね、あれかな、高浜がもう入ってるから、
0:59:49	泊。
0:59:50	オリジナル
0:59:51	になるのか、ちょっと確認したいなと思うんですけど、もしかしたら抜けてしまったのか蒸気発生器広域水位、
1:00:01	が0%。
1:00:02	0%いただき
1:00:04	はいちょっと検討させてください。
1:00:06	規制庁秋本です何かそういう、一応審査官、そういった観点でも見てるので、少し細かくなな分解能で見てもらって、
1:00:19	問題がないんだったら、同じかなって感じですかね。はい。
1:00:26	それで、9ページは、
1:00:32	9ページを、
1:00:34	あれですねそこは事象進展のところで、
1:00:38	格納容器があって、
1:00:42	書いてあるんですけど。
1:00:45	ちょっとそれが見つけられなかったんですけど、事情進展の方は格納容器。
1:00:51	要は書かないんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:53	北海道電力の大木ですけれどもあの事象事象に応じてアノかC vの方書かないってふうにはしてまして二次系除熱機能喪失もですね加圧器逃がし弁を開けますと、加圧器逃がしタンクというところに、一次冷却材が行きましてそのタンクのラプチャーディスクが破損することで、ラプチャが
1:01:10	開放することでC V内に一次冷却材が漏えいしまい、C Vの圧力が上昇すると、先ほどあった再循環ファンを使ったり、場合によっては圧力上がるスプレーで冷却するっていうことになるんですけども、
1:01:22	解析上特段、
1:01:25	そこまで上がらないっていうところと、この事象に関してはやはり、一次系の冷却を見るところですので事象進展には、ついては書いてないただBポツの評価項目ところに、の方については
1:01:36	しっかり中段の方ですけども記載しているという状況です。以上です。
1:01:42	規制庁秋本ですちょっとここは、
1:01:46	先行のPの実績があるものの、
1:01:51	何ていうんすかね。もし、
1:01:54	解析でそこまで見てないからとか、そういうことなのかもしれないですけど、
1:01:59	ちょっと横並びの観点D。
1:02:03	ご検討いただきたいなと思うんですけど当然書く必要ないんですけどってだったらいいかなっていう気もしないでもないんですけど。
1:02:11	何かちょっとここは、
1:02:15	変えてもいいかなっていう気がしないでもなくて結局、その事象進展って最終的な安定状態っていうか、
1:02:23	まで。
1:02:24	持ってけるかどうかって、
1:02:28	いう観点だと、そっか。そうなんすよね後で話すかもしれ話すんですけど
1:02:35	格納容器がもう、
1:02:37	うん。
1:02:38	炉心双樹の時にも、
1:02:40	見るっていう整理をBはしているんで、
1:02:44	ちょっとここは検討かなとは思ってるんですけど、ちょっと横並びで、
1:02:48	見て、
1:02:50	もらえないですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:01	はい、北海道電力の青木です。ちょっと1点かけ横並びとおっしゃるのはこの評価項目の方にはCVの方に触れてるけども事象進展の方には触れてないっていうこの並びという理解でよかったですか。
1:03:13	規制庁アキモトそうではなくて他シーケンスとカー。
1:03:17	そういう意味から、
1:03:19	このシーケンスだと。
1:03:21	でいいんですってことですかねそこ。
1:03:25	いや、横並び観点はすいませんOBも含めてなんですけど、B、D、結局、その同じシーケンスないですけど、
1:03:36	表現ぶりとか言わなきゃいけないものつつうのは、Bでも書いているので、
1:03:44	そういった観点で、
1:03:46	書くべきか書かないで聞こうっていう全然ネタがあるんで、書かないだけの話かなと思うんで、
1:03:53	ちょっとここは私の方も、
1:03:57	強くK a k e h i っていうわけではないので、
1:04:00	ちょっとそういった観点で見てもらって、
1:04:04	入れる必要性はやっぱりないんですっていうんだったら、ない、ないでもいいですし。はい。今ここで判断しなくて大丈夫ですんで範囲。
1:04:13	はい。
1:04:16	bポツのところは、
1:04:20	そうですね、ちょっとここでちょっと聞いておきたかったんですけど
1:04:24	2行目のところで309、380度っていう初期値の値なんですけど、これ解析結果の相違って書いてあって、冠水だけど、少し多いのが、あれですか、出力が高いからとかで温度が高いんですか。
1:04:40	はい北海道電力の青木です。おっしゃる通りだと思ってます。
1:04:46	規制庁アキモトですわかりました。
1:04:52	と、
1:04:54	そしたらあとは、解析結果の一番最後のところは、
1:04:58	すいません最後というか、20.592っていうのは、榎清川の値からこうですと。
1:05:06	言っていて、
1:05:08	でもあれなんですよね。他のところも3桁表示だから、別にこれ違和感はそのなになかったんですけど、企業間の記載がこうだからっていうだけですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:21	はい北海道電力の大城です。ちょっとアオキ詳細は把握してないんですけどS I 単位化の関係で、泊3号機は、この桁数になって、
1:05:32	いるというふうに理解しますがシバタなフォローありますか。
1:05:36	泊3号機はですねPで最新プラントで、S I 単位で設置許可申請の増設のときから、整理されていて、最高使用圧力もS I なので、
1:05:47	この1.2倍というのを正確に書くと、
1:05:53	綺麗に正確な対応をかけてしまうということでちょっとその時、
1:05:57	Pで唯一ここの数字がどうする月に出ていったっていうのが、
1:06:02	経緯となってその後、
1:06:05	他社のきろうの表示でしたのでそれを機能の性能値をS I 変換しているというふうな状況にあるというふうに理解しています。
1:06:16	はい、わかりました。9ページが一番下ですけど、一番下のパラで、
1:06:24	あ、すいません規制庁秋本です。一番、須田100分時点っていうのが書いてあるのと、諏訪先生と、単純に比較しただけなんですけど12.4時間でなんか全然、
1:06:38	値あそこ、これ言ってることが違うんですかね。
1:06:45	Jリーグだもんだて(ホ)示し、
1:06:48	先週、
1:06:51	何かここって、何でこんなに差があるんだらうってちょっと思ったところからのスタートなんですけど。
1:06:57	これは、
1:07:00	低圧入れるタイミングの違いとかですか。
1:07:04	はい。北海道電力の青木です。高浜34、泊と大岩アノ約3.7時間と3.3時間ということでほぼ同等となっておりますけど高浜345号機は充填高圧注入ポンプというちょっと注入特性が、
1:07:17	異なるポンプを使用しております、
1:07:20	比較的、高浜34号機に比べると、泊とか大井の独立した高圧注入ポンプの方は、より炉心に水を入れられるというところから、より早く
1:07:31	技術除去系による炉心冷却が可能になる177と。
1:07:38	に、アノと到達するというので注入ポンプの特性の違いでこの差異が生まれているということになります。
1:07:48	規制庁アキモトそうするとあれなんすかねちょっと構文が何か違うなっていう気が。
1:07:55	したので、
1:07:59	これってあれですかこうぶん書いている何か理由って何かあるんすか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:04	構文とおっしゃられているのは多い分、青字の部分、
1:08:09	規制庁、井上宗です事象発生 500 分時点においても、
1:08:15	低下傾向を示し、割る悪くはないというか、理解はできるんですけど、
1:08:23	何か、
1:08:25	高浜大井ともなんか高尾いて、あれ、設備を開始することによってという記載じゃないですか。なんでこういう独自色になっちゃうログっていうのがちょっとよくわかんなかっただけなんですけど。
1:08:39	はい。北海道電力の和気です。ちょっと本音のお話をさせていただきますと泊はですね解析を 100 分でストップ、申請書解析上はですね、添付ファイル、添付資料の方ではこの、ここに表示する 7.1. 1.87. 1.1. 8 の方では、長期の
1:08:55	解析をしてまして、余熱除去系による冷却が可能な、一次系の圧力温度まで低下してるところを示してるんですけども、申請者解析では伊方と同様ですね 100 分。
1:09:05	までの解析となっておりますのでこの第 7.1. 1.4 図に示す通りという形で、100 分につなげていると。ただ一方ですね、関電さんのプラント、高浜 34 を 34 号機は、
1:09:17	泊添付資料でな、示してるような長期の解析結果を申請書解析の方に示しておりましてそこで、具体的に余熱除去系による炉心冷却が、
1:09:30	開始できる圧力温度まで低下してることをこの図で示しているために、
1:09:34	書き方が異なっているというのが実態でございます。以上です。
1:09:38	規制庁阿部アキモトですわかりました。だからあれですねこれ言い方と同様って書いてくれていてそういうことですか。だから言い方とどういうね。
1:09:47	わかりました。はい。
1:09:50	で、安定停止状態の話はまた S B O のときにしますので、
1:09:58	進んでいただいて、
1:10:02	不確かさのところも、特段あれなんですけど 15 ページ。
1:10:07	言っていただくと、
1:10:10	ちょっとここはあれなんすけど定量的にちょっと書けるところを書いて欲しいなっていう、いうところぐらいなんですけど、
1:10:18	赤字のところなんですけど、
1:10:20	炉心す露出時の最高値は初期値と同程度であり、
1:10:25	ちょっと幾つなのっていう話がすぐ出てきちゃうので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:30	ここもかけるなら、ちょっと書き込んで定量感を持って書いて欲しいというところですか。はい。さ、一番初めに取りまとめた結果、資料のところでもご指摘いただいた通り、検討したいと。具体的数字を書く方向で検討したいと思います。
1:10:46	規制庁アキモトそうですねさっき言ったのに、忘れてしまいましたすみません。
1:10:51	で、17ページも同じような観点ですね。
1:10:56	はい。
1:10:57	で、18ページの要員のところですけど、
1:11:03	一番最初の1パラメータあ、災害対策要員支援とか、何かすべて高浜大井が重大事故等対処対策要員って書いてあったんで、
1:11:15	ですけど、これは女川に合わせて、少し分解したよってということですかね。はい。北海道電力の青木です。おっしゃる通りでして女川を見ましてこちらの方がより良いだろうということで反映しますとこの事象は横に女川がないので
1:11:32	泊だけちょっと不審見えるかもしれませんがそのような事情です。以上です。規制庁秋本ですわかりましたそういう、そういった観点でやられているってということで少し安心しました。
1:11:40	はい。
1:11:41	それで、あとは、
1:11:46	そうっすね。あとはちょっとまたこれもSBOで見つつ、その燃料のところの書き方とかも、構文は女川ベースで、
1:11:55	整理をするべきかなあと。
1:11:57	思われるのでまたそれはSBOのところやってそれを二次系除熱のほうにも反映してもらえばいいかなって感じですね。
1:12:06	で、
1:12:08	最後のまとめのところは、
1:12:12	20ページですけど、これもだから、
1:12:15	あるの無いのって話で青字のところですねあるのでそこはまた検討してもらえば大丈夫です。
1:12:25	はい。本文側は、
1:12:29	以上ですが、
1:12:32	聞きたいことがありますか。
1:12:35	大丈夫ですか。
1:12:36	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:12:41	規制庁深山です中身の話は秋本から話があったんであれですけどちょっと比較表の作り込みが、
1:12:48	意図は何となくわかってはいるんですけど、藤。
1:12:53	例えばなんだけど
1:12:56	7ページとかでいくと、
1:13:01	これよく見て欲しいんだけどBポツで、
1:13:03	赤字で280230って書いてあって、
1:13:08	訳が色塗ってないとかね、よく見て欲しいんだけど、要はこれはまた話じゃないんだけど
1:13:17	要は、
1:13:18	2行数、例えば加圧逃がし弁3個って書いてあって、多分その、
1:13:24	大井も2個だからこれ色塗ってないんだけど、こういう場合って三つとも載らないと。
1:13:29	要は違いがよくわからないやつが結構あってその他でもその二つがあつて、
1:13:35	違う二つのサイトが違う場合は色を塗ってあるんだけど、同じところは色塗ってないとかってなると。
1:13:42	これ3で比較してるんで、そうすると、三つとも色を塗ってもらわないと、
1:13:47	その比較が見にくいっていうのが、
1:13:50	あるので、次を作成採泥アノリバイスされる時はその、
1:13:55	比較対象3プラントであれば3プラント分色を塗るようにしていかないと、ちょっと比較表が見にくいなと思うので、よろしくをお願いします。
1:14:04	はい。北海道電力の青木です。ちょっと1点確認させていただきたいんですがその場合、ぱっと見、色がすべてついてしまうんですけども、どこで差異があるかっていうのはこの横に差異理由のところ、括弧高浜って書いてあるから高浜と違うんだねっていうふうに読むという理解でよろしいでしょうか。そういう意味ではわかりました。
1:14:28	すいません今アノミヤモトさんおっしゃただけですね、例えばその色が違うパターンもありまして、
1:14:36	泊と翁長を比較すると緑だけでも、島根と比較すると赤になるとかっていうパターンも実はあつてですね。
1:14:45	あ、すいませんこれ違う話なんですけど一般論と、一般的にっていう、今回とは別な話なんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:53	そういう場合ちょっと色が、なかなか難しい時もあるってですね、一概に全部同じ色っていうふうにはちょっとできないものあるっていうのをちょっとご承知おきいただきいただきたいなど。
1:15:04	はい。
1:15:05	すべて同じ同列で赤々ってなるわけではなくて、例えばこれ今赤ですと、
1:15:12	理由は何でしたっけ。
1:15:16	設計方針の相違で赤赤なんですけども、例えば記載が違うとかですね、記載方針が違うっていう場合は緑とかっていうふうに使っていますので、
1:15:26	そうなると同じような箇所なんですけども、場合によってはそこは緑泊と比較すると緑、
1:15:32	だけども同時に他のプラントと比較すると赤になるっていうパターンも、
1:15:35	所々あると思いますんでその都度、三木いただければと思いますけれども、ちょっとご承知おきいただきたいなというふうに思います。
1:15:47	宮尾ですけど言われてることは何かわかったんですけど、
1:15:50	あくまでもそれは横並びでよく見て、識別できるようにしてくればそれでよくて、内容については差異のところに書いていただければよくて、何色にするのがいいのかとか、
1:16:02	別にそういうことにこだわってるわけではないので、それは識別できた上で備考で説明を書いていただければ別に何色でも構わないと思ってますんで、よろしくをお願いします。
1:16:14	はい、承知しました。
1:16:17	規制庁大塚です。すみません。ちょっと似たようなことなんですけど、
1:16:22	7ページの、今日ちょっと話題に上がったところでBポツの（エ）の、
1:16:27	個人冷却性が厳しくなるっていう言いぶりが、他のブランドと微妙に変わってる場所なんですけど、
1:16:35	こういった何か日本語の
1:16:37	違いっていうのは、色を塗らないっていう整理なんでしょうか。
1:16:42	はい。北海道電力の大木です。基本的には色を塗ってるんですけど申し訳ございませんここはちょっと抜けてしまっているのか、正直意味としては変わらないと判断して、黒にしたかちょっとすみません、ちょっと作成したものが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:57	過去なのでちょっとなんですけどはい、当然ながら差異があるところは識別していきたいと思ってます。以上です。
1:17:04	規制庁大塚です。承知しました。そうするともう1点、もう1ヶ所、13ページの、
1:17:10	上から3行目のところで、
1:17:13	1次冷却材温度の前に実際のっていうのが多い。
1:17:19	には入ってるんですけど、泊と高浜には入ってないんで、多分ここも大いに色を塗るべきかなと思うんですけど。
1:17:28	はい、北海道電力の大木です。申し訳ございません緑にしたいと思いません。
1:17:32	規制庁大塚です。はい。で、上の凡例にもですね記載表現は緑にすることになってますので、
1:17:39	そういったところもできれば色をつけていただいた方が見やすいかなと思います。
1:17:45	この条文だけじゃなくてDBも含めて他の
1:17:48	条文も同じように直していただければ助かります。以上です。
1:17:53	はい、かしこまりました。
1:17:57	すいません規制庁からいいですちょっと聞き、ちょっと質問だけなんですけど。
1:18:03	結構説明の中で、言い方を参考にしていると差異の説明とこの言い方、格好で入ってあたりとあって、伊方と比較するっていう手もあったかと思うんですけどこれは、
1:18:15	泊の申請書を作成する時点で先行している高浜34を3、参考に、
1:18:22	作ったってような経緯があつてということなんで、
1:18:27	はい。北海道電力の青木です。片桐さんおっしゃる通りでもともと仙台が当然最初に先行して高浜34というところで泊は高間ベースに作ったんですけどその際に、その後、伊方が出てきたために、
1:18:42	完全に肩に乗り換えるっていうことではなくて、高浜あくまでさ、高浜34号をベースに、伊方の良いところを取り込んでいこうという形で作成しました。以上です。
1:18:52	規制庁勝です設計としての言い方の方が近いのかなとは思ってちょっと備考の多分記載の工夫みたいなところで、うまく対応していただければと思いますのでよろしくお願いします。
1:19:11	これ記載ぶりだけの話なんだけど、
1:19:14	もともと、ちょっと私、我々聞いてたまでも含めて聞いているのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:19	まず最新のBWに合わせますよという前提があってそれは当然BWとプラント形が違うので、当然大井の最新のPのプラントで大井に合わせましょう。
1:19:31	だから、感覚としてはまず大井のレベルまでまず持ってきてるっていう認識ではいるんだけど、
1:19:38	今説明が受けたら、大井ではなくて、高浜に合わせしてプラスあるY型の状態で持ってきてると。
1:19:47	それをプラスして大井を取り込んでいる、要はその
1:19:54	はい。北海道電力のがちょっと説明が足りなくて申しわけない2016年当時はそういう形で作っていましたがアノカタギリさんに示させていただいた通りですねその当時はそういう形で作りまして今回はさらに横に並べまして、大飯も見ただ、大飯も取り込んだ形で泊3号機作っております。以上です。
1:20:16	私ちょっと気にしてたなあ、一体何に合わせていこうとしてるかっていうのだけ決めとかないと。
1:20:23	この条文は、
1:20:25	大いに合わせました。この条文は、当然設備が違うので、
1:20:31	翁長成島で、BWRプラントに合わせました。
1:20:35	んならまだいいんだけどDBの方でここは試運アノ女川にお会いしましたこれは大いに合わせましたって結局バラバラの形になって、
1:20:45	しまわないように注意してくださいしか言いようがないんだけど、今だから言ってるように、所々言い方が入ってきたりなんかしてるんだけど、結局、
1:20:54	泊としては今、大方針として何合わそうとしてるっていうふうに整理してるそれは、
1:21:02	条文ごとに違うってことなんですか、どうなんですか。
1:21:10	はい今北海道シバタです今宮尾さんに指摘していただいた通り高止まりの作りとしては、もともと高浜と比較してそれ以降どんどんこう、
1:21:22	審査が進んでいったので、アオキの言った通り良いところを取り込んでいこうということで並べてみていいところ取り込むということで、どこかに完全に合わせ込むというふうなことをしてきてないというのが実態でございます。
1:21:35	ただいまの審査の効率化の観点で最後いっぱいあってそれを確認していくっていうのも、非効率というふうな観点でコメントしていただいと認識してるんで、その辺りはちょっと我々としても

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:47	有効性評価の資料については、方針についてこういった方針っていうのを提示した上で
1:21:53	少し軌道修正しなければいいんじゃないかなというふうに考えてございましてそのあたりちょっと、また方針を提示させていただきたいと思います。
1:22:06	規制庁秋本ですそれでやっぱりだから有効性評価だけじゃなくて、結局、他のものも一緒だと思うんで、あんまり有効性評価だけは違うものにならないようにしていただきたい。
1:22:18	ところですので、その観点も含めて考えていただければなあというところですね。
1:22:25	はい。その他、よろしいですか。
1:22:28	はい。
1:22:29	少し時間が経ってますがもうちょっとですので、すぐ
1:22:35	やっていきたいと思いますすいません 22 ページの図表集のところですけど、
1:22:40	22 ページは、多分
1:22:45	ご認識されているとは思いますが、
1:22:49	宇佐で見てたところ、v i v o II ところが一補助給水連動補助電動補助給水ポンプっていうのが、
1:22:59	数を高まって泊ないのは何か理由があるんですけど。
1:23:12	はい、北海道電力の青木です。
1:23:15	すいませんちょっと過去の経緯もう一度確認したいなと思うんですけども、
1:23:21	有効性評価上期待しないものを書かないとかですわねちょっとすみません、準備だけ文字づらが出てくるんですけど準備だけするっていうようなものは書かないとかちょっとアノしたルールありますので、もう一度整理させ提示させていただきたいと思います。以上です。
1:23:36	規制庁秋本です少なくともその左の手順の中には、電動補助給水ポンプ、
1:23:45	でも回復操作とかでもそれは有効性評価上期待しないって、括弧しちゃうでもいいだけの話だと思うんで、
1:23:53	ちょっとルール、
1:23:54	再確認しつつ、この何っていうんでしょう今ちょっと気になったのはそのレベルで見てくれるかなっていうところが、安孫子宇井ん見るだけだと、差異は。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:08	何ていうかね名称が異なるで書いて、
1:24:11	いただいでるんですけど、実際中身でいくとちょっと違ってたりすることがあるので、
1:24:18	そういった観点で、
1:24:20	少し細かめに見てってもらおうと、cポツのところ、もう種々、主蒸気逃し弁が入ってたり、
1:24:31	して泊なかつたりするんで、
1:24:34	そういったところもう何ていうんでしょう、我々審査官はちょっと気になるポイントではあるので、
1:24:41	備考に書けるんだったら書いてもらってもいいですし、
1:24:47	ていうよりはそうですね読んでわかる資料になってた方が、お互い楽だと思うんで、書き込めるんだったら書いて、梅内はって違うんですって言うてくれればいいのでは、
1:24:59	はい。北海道電力の大木です。おっしゃる通りだと思いますのでその方向で、資料を修正したいと思います。
1:25:06	規制庁秋本ですそうしましたら、23ページは特段なく、24ページで聞いておきたかったのが、初期条件のところの、
1:25:17	S Gの2、二次側保有水量の括弧書記つてというのが泊だけないのは、何か理由があるんでしたっけ。
1:25:29	はい。北海道電力の大木です。ここもですね
1:25:35	添付書類に不確かさの、ご存じより一覧表がありましていろいろ初期条件とか書いてそのうち主要なものをこちらに書くというルールだったと記憶しておりますが改めてちょっとここに書かないのルール、
1:25:49	確認して、記載を検討したいと思います。
1:25:53	規制庁秋本です。わかりました。特に、
1:25:57	こだわるポイントではないんだったら、書けばいいだけの話かなと思います。はい。
1:26:08	25ページも、
1:26:10	同じですね本文側の方が直れば、直れば通過本文の反映があれば、こっちも反映してもらってと。
1:26:18	26ページの図については、今は特にないのでS B Oを見ながら、
1:26:25	女川との反映だけですね。
1:26:28	で、27ページは、これは事象判定プロセスっていうのは、中身自体はもう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:36	高浜とか大井は大きくしているけど、中身自体は変わらないっていう理解でいいですかね。
1:26:50	北海道電力古谷でございます。事象判定プロセ数については各社ほぼ変わらないというふうに理解しておりますので、大きく変えたか、そこに1ページに収めたかっていうことで、
1:27:04	考えてございます。以上です。規制庁秋本です私もその認識ででしたので、大丈夫かなと思って29ページは、
1:27:16	これもまたちょっと見づらくてちょっと恐縮なんですけど、
1:27:20	何かすみません、ぱっと見なんですけど。
1:27:23	※10があるのとないのがあるなって思ったのがきっかけなんですけど。
1:27:29	何か差分があるんですけど。
1:27:32	はな。北海道電力の大木です非常に解像度が悪くもし見づらい資料で申し訳ございません改めて確認して、再分析した上で、必要により際の説明を加えたいと思います。
1:27:44	承知しました。よろしく申し上げます。はい。
1:28:01	規制庁秋本です。そしたら、あとは、31ページの、
1:28:07	ところですが、
1:28:10	31ページは結構
1:28:13	このシーケンスは、
1:28:15	図が解析結果が少し違っているような感じなんで、少し細かめに見てたんですけど、
1:28:23	なあなあでいって4ずーの、
1:28:29	本日ですね、4ズーD60分あたりのところで、急に落ちるところあるじゃないですか。
1:28:37	ここの変曲点っていうのワー
1:28:40	何かあるんですか、その理由が。
1:28:46	はい。北海道電力の青木です。この圧力の変動に関しては加圧機能状態で決まってきました気相放出なのか液相放出かってことでプラントバイプラントで若干の一次系の保有水量の違いとかですねポンプの注入特性の違いとかで、
1:29:03	差が出てくるものというふうに思ってますが基本的な強度については一緒なのと、先ほどご説明した通りこのグラフですね、大井が100240分。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:15	ともに100分、高浜が12時間ということで各社横軸、異なっておりますので、その辺りもちょっと見え方としては異なるように見える要因なのかなというふうに思います。
1:29:29	規制庁秋本です今の質問は、すいません。ご回答の中に盛り込まれてたかもしれないけど60分時点で落ち込んでるところっていうのは、上の
1:29:40	基層放出となる。
1:29:42	ていうものが続いているっていう理解ですか。グッと何かガクンと落ちるのは何か。
1:29:50	挙動的に何かあったのかなって思っちゃうので。
1:29:53	基本
1:29:55	なんか全部理由を書くようにしてたじゃないですか。
1:29:59	ちょっとこの、ここが、その上の矢印の基層放出となることでっていうのと同じなのかを確認したい。すいません、北海道電力の阪本でございますけれども、この辺局ではですね、
1:30:13	下のグラフを見ていただけるとわかるかと思うんですけど、
1:30:17	クオリティが100%からこう二相流に映ってますよね。
1:30:22	だから、
1:30:24	急激に下がる前はですね気相のみが、常勤のみが出てたのが、今度行きたいまじりが出るようになって急激に、
1:30:33	開発期間の放出速度が早まることでがくんと下がるか。
1:30:39	規制庁秋本です理解しました。そうするとする等はこの図の中に書き込まないといけないものになる。
1:30:49	ということになりませんか。
1:30:52	はい北海道電力の大木です。今坂本が言った通りですね他の図でその辺りの挙動が確認できるものがまた正直あるかなと思ってましてそれを一つの図に全部押し込んでしまうと大事な、
1:31:07	ポイントがちょっとわかりにくくなるっていう点もありまして、だけどそこはご指摘いただいた。
1:31:12	注目点なんだから、書き込むのはやぶさかじゃないんですが注目されたこの点だけ書き込むということだからこういう議論の中で、何かこう、ここはちょっと目指すよねっていうご指摘が、規制庁さん側からあればねそこは別に、
1:31:25	書き込むもんでもないでしょ。そうですねおっしゃる通りそこを否定するものでありますので全部の辞書に全然グラフに全部、結局は全部やる

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



	という中ではなくて、ここでっていうところはないっていうところは、はい。
1:31:39	かしこまりました。はい。ちょっとこれを追加させていただきます。
1:31:44	規制庁秋本です。他のグラフ見ればわかるじゃないですかっていうところは、確かに。
1:31:50	あるっちゃうあるんですけど、基本段階なんですけど、見れば、
1:31:56	基本変曲点ってわかるようになってないといけないはずなので、書いていただくことを検討してもらえばなと思います。
1:32:12	あと、32、あ、ごめんなさいそういう意味では、すみません 31 ページのクオリティのその後 5 図の方の、80 分ぐらいからガチャガチャするところあるじゃないですか。これは、
1:32:27	他の図とかでも何か見えたりするんですか。
1:32:32	五井。
1:32:34	クオリティの、
1:32:38	結局、わかんなければ書き込んで、今説明してもらわなくても大丈夫なんで、こここういった、
1:32:46	ところが変曲点となりたり、
1:32:50	なんすかね。なんか共同が動いてるところっていうのは、書いといてもらわないとまたいちいち聞かなきゃいけなくなっちゃうので、
1:32:59	はい。そこは検討していただければなと思うんですけど。はい。北海道電力の青木です。かしこまりました。ちなみにこの 80 分のところですね次の 34 ページ。
1:33:10	の下のグラフですけども、加圧器逃がし弁安全弁流量の推移ということで破線で加圧器逃がし弁の挙動を示しておりますがちょうどこの辺りに加圧器逃がし弁が
1:33:21	上下に開閉を繰り返しているといいますか、それに伴って加圧器上部のクオリティも変動してるものと思われます。確認して、記載を追加したいと思います。以上です。
1:33:34	規制庁秋本です。わかりました。書けるところはちょっとどんだんどん書き込んでもらいたいなと思いますので、よろしくをお願いします。
1:33:45	で、32 ページのところもう、
1:33:51	これはちょっと微妙なのかもしれないんですけど加圧器水位も、
1:33:57	80 分ぐらいでぐっとまた減ってっていうところがあるんでこれも何か開いて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:05	出てってるってことだなあっていう感じがわからなくもないんですけど、できるだけ、
1:34:14	質問が出ないように、書き込んでるところは書いて、
1:34:18	言っていただけますかね。はい。この点とか、
1:34:22	33 ページですと、
1:34:25	33 ページもちょっと何か、
1:34:31	他社が書いてたから気になっただけかもしれないですけど。
1:34:37	はい。
1:34:41	34 ページは、
1:34:45	あそこ、これはもうすごく細かいところなんですけど、10 図は、一次系注入流量と注水流量ってあって、
1:34:53	何かこだわりがあったりしますか。
1:35:02	北海道電力古谷でございます。注入注水という言葉なんですけども S A のその技術的能力側でも注水という言葉に統一してるところもありまして、
1:35:14	そういう言葉の使い方もちょっと含めてちょっと整理をさせていただくことになるのかなというふうに考えます。以上です。
1:35:23	失礼しました。ありがとうございますそしたら、その際の説明のところで泊では R C S 圧力の上昇時の注入流量が、
1:35:35	注入流量の落ち込みが大きいって書いてあるじゃないですか。
1:35:39	これもう、
1:35:40	理由は何なのって聞かれたら、何かあれですか。
1:35:46	注入特性とか、何ですかね。
1:35:50	要は、
1:35:52	その事実を書き込まれてさんじゃなんでってところに該当があるかどうかなんですけど。
1:36:00	はい。北海道電力の青木です。ちょっと他のグラフ等を見てもう一度分析したいと思えますけどただ単に事実を書くだけではなくて、なぜこの差異が生じたのかというところをわかるように、差異の理由、充実したいと思えます。以上です。承知しました。
1:36:16	今の件とかもう他のシーケンスとかでもし我々ヒアリング前とかで見れるところがあったら
1:36:23	事業者の方でちょっとす、追記はちょっと検討するようにしてくださいと。
1:36:29	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:37	どう、大丈夫。
1:36:41	ちなみに、
1:36:43	伊井委員ですけど多分いらぬのかもしれないですけど 11 図の加圧器逃し弁のところだと。
1:36:51	書く必要あるかなとはちょっと、すいません個人的な感想あんま言うもんじゃないと思うんですけど 8 図のところ、高浜のほうだと作動圧力書いてあって、
1:37:03	いいですかね。
1:37:06	そっか、加圧器安全弁は作動しないんですね。
1:37:11	そっか。だから、作動圧力は書いてないってことですね。なるほど。ごめんなさい。今、理解しました。
1:37:19	はいはい。
1:37:21	それすいません、右の差異の説明のところすみません白湯蓄圧、最後の三、四行目か蓄圧タンク保持圧力まで低下しないって書いてあるところは、
1:37:32	これ幾つなのかなっていうのが、
1:37:35	わかるようにして欲しいなっていう感じなんですけど、いかがですか。はい。北海道電力の下水本蓄圧注入が入る事象に関しては 4.4MPa について書いてるんですが、この事象はちょっと入らなかつたがために記載はちょっと抜けてたのかもしれないように、
1:37:53	書きたいと思いますが泊を共通的に A と呼んで何かすいません、4.0MPa でございます。以上です。規制庁脇本です。ちょっとじゃあ書き込んで、ちょっとぱっと見たときに、以下幾つなんだって言って見れるようにしといていただければと思います。はい。
1:38:09	そんなところですかね。
1:38:14	15、すいません。す 36 ページの 15 図も、
1:38:22	別に大井が書いてないから、
1:38:25	いいですかね。
1:38:28	ちょっと事業者の方で書く必要があれば何か作動圧とかも、
1:38:35	書く必要がないっていうことだったら書かなくてもいいですけど、
1:38:38	はい。北海道電力の大木でございます。この部分はですね添付書類 10 になるところでして、可能であればマスキングとなるようなものは書かないほうがいいだろうというふうに考えております。
1:39:00	規制庁秋本です。
1:39:02	あとはですねえ、すごい細かいところなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:10	そこ、18 図、
1:39:13	泊の 18 図ですと、
1:39:18	用語の使い方ですね高圧注水流量のところだけ水になるなあとか、
1:39:25	いうのもなんか見てて、気になる。
1:39:29	ちゃうので、その何ていうんでしょう
1:39:32	別に、
1:39:33	一緒にいいんだったら一緒にもいいし、
1:39:36	いうところですね。はい先ほどの北海道電力の大木です。先ほどの注入 I I 注水に合わせてもう一つ、一通り、もう一度チェックして合わせら れる範囲で合わせたいと思って思います。以上です。
1:39:47	規制庁アキモトです。で、39 ページは、
1:39:52	単純でちょっと定量的な数字は入れて欲しいなと思うので 20 図のこ ろも、ピコッて上がっているところが一時的に上昇するっていうところ なんすけどこれ幾つなのかなっていう。
1:40:05	というのが、大井だとわかるようになってて、
1:40:09	宇野で同じように、ピーク値に近いところ、ピークでもないのか。
1:40:16	ちょっと出てる場所は、定量的にここも大事なポイントなので、書い てください。
1:40:22	はい。北海道電力の青木です。先ほど本文でも表初期値てあど、同程度 とかいう記載もありましたので
1:40:31	本部に合わせる形で、具体的な数字を書く方向で検討したいと思いま す。以上です。
1:40:47	規制庁秋本です。といった感じでですね相撲
1:40:53	他社がかい。
1:40:56	いないからいいっていうような感じじゃなくて、できるだけ説明性は上 げてって欲しいと思うので、何か気づいた変曲点とかがあれば、追記を しておいてください。
1:41:07	はい、じゃあ、二次系除熱の。
1:41:11	本体は本体というかこれは終わったんですけど何か他ありますか、図表 集。
1:41:21	北海道電力古谷でございます。すいません私の説明で 1 件だけ訂正させ ていただきたいところがありまして、
1:41:30	大井さんですね電動主給水ポンプ等、中圧ポンプっていうポンプの使 い方の説明をした時にですね、
1:41:39	我々と同じように主給水ポンプが使えなかったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:44	中圧ポンプを使うって私説明したんですけども大井さんの技術的能力の資料見ましたら、並行で準備されるような手順になってございましたので、
1:41:55	どちらにしても他社さんのその手順と、その有効性評価のまとめ書の記載も含めて確認をして、どのような記載が正しいのかというのを考えながら反映していきたいなというふうに思います以上です。
1:42:16	規制庁秋本ですそしたらですね、あとは見てないのが、添ぷーになるかなと思うんですけど、全部もう、多分ちょっと、
1:42:26	これから比較表とか作っていただければ、もう質問とかを出ずに、
1:42:32	終わるかなと思うんですけど、少し、
1:42:36	各シーケンスで気になってるところは、聞こうかなと思っている感じで。
1:42:45	菅生。
1:42:47	二次系除熱の添付はそんなに、
1:42:50	ないですね。
1:42:52	すごい細かいことだけなんですけど、
1:42:55	添付の7-1-1-12の燃料評価、
1:43:01	12の燃料評価でこれ別に見てもらわなくてもいいんですけど
1:43:06	L、
1:43:07	F-自体が、何ですかねイタリック。
1:43:11	じゃなくて何か、
1:43:13	なんすかね。
1:43:14	普通のL1引きたいかどうかのエリアに何か直してたりしてたんじゃないかなと思うので、
1:43:21	各資料なんかポリシー持ってやってくればそれでいいので、はい。
1:43:32	規制庁の本本ですちょっとまだ、もう2時間ぐらいだったら休憩しようかなと思っているんですけど、ちょっと続いて、SBOの比較表もやりたいと思うんですが、よろしいですか。
1:43:49	結局今、
1:43:51	流してやったところのポイントと、あとは、
1:43:56	SBOで見る尾長ガンとの記載。
1:44:00	が、中心になるかなと思ってますと。
1:44:11	て、
1:44:12	あれですね、この
1:44:16	SBOの方のステータスの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:21	何時この添付添付のやつってお持ちですか。
1:44:27	添付のやつですね作成状況か。
1:44:35	それですはい。それで小野里の日、添付の比較をしてくれていて、
1:44:45	R C I Cのところがまず、テンプの女川の 2312 ですね、があって、
1:44:53	BWRこの設備のためまとめ資料は不要と判断したってところなんですけどこれは別に作って欲しいとかではなくて、似たような機器はないっていう。
1:45:05	理解でいいですかね。
1:45:09	はい。北海道電力の青木です。正直似たような機器といいますとタービン動補助給水ポンプというのがPWRにありまして、蒸気で駆動する補助給水ポンプが、
1:45:23	外アノに多様な機器と言えば2台の機器になると思います。
1:45:27	何かそういった何か、
1:45:30	素人質問が来たときに返せるようにしておきたいなどは、
1:45:35	で、
1:45:37	R C I Cは、B固有っていうのはそりゃそうですよねとは思んですけど、
1:45:45	同じ観点で作らなくていいんでしたっけっていうことを言われないように、もう少しここで理由って、
1:45:53	ないんですかね。
1:45:57	はい。北海道電力の青木です。はい、おっしゃること理解しました。ただ単に設備が違うからっていうよりは泊だと、みたいな設備があるんだけどもこういう理由で作成は不要とかですねもうちょっと詳細に
1:46:12	理由を書き記載追加したいと思います。以上です。
1:46:16	規制庁秋本です記載だけなんですけど、そういったちょっと工夫をしておいてもらいたいなというところですね。で、
1:46:24	S R Vんに関してはBこういう確かにそうですけど、解析と実態と異なる。
1:46:34	違い、何ですかね、解析と実態の違いっていうのを、
1:46:39	やっているのが、Bがそういう整理をしているので、実態と異なることは、
1:46:45	ないんか、加圧器逃し弁とか、
1:46:50	ですかねちょっと何か実態と異なることはないのかどうかっていう。
1:46:54	観点ではいかがですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:56	はい。北海道電力の青木です。ただ単に表題だけではなくて中身を見て一応この作成用不要判断したつもりですけども、今改めてちょっとこの資料作成した方がですね、正直、ちょっと、
1:47:10	昔になりまして、もう一度中身を確認した上で
1:47:14	そうですねタイトル上からは解析と実態の違い及びその影響についてということで下は逃がし安全弁にかかわらず、何か同じようなものを書けないかどうか、もう一度ちょっと確認したいなと思います。以上です。規制庁アキモトして
1:47:28	逃がし安全弁っていうか、何ていうか、Pの設備に置いて、同じような観点でっていうことで見てくれればいいかなと思うんでその見た結果は、文字にしておいていただければ我々読みますので、
1:47:42	はい。
1:47:43	ていうところだと、
1:47:51	そうっすね再循環ポンプのリークっていうのも、同じかなと思うので、
1:47:57	同等なものが作る必要があるんだったら作るし、作んなくていいんだたらちゃんと理由を書くと。
1:48:03	いうところですかね。はい。
1:48:13	後は
1:48:14	すいませんちょっと1点、今の部分ですけども、北海道電力の大木です。原子炉再循環ポンプBWRで言うアノポンプに該当するのが、PWRでいうと、RCPと言われる一次冷却材ポンプでして、
1:48:28	そのリークについては、泊の添付資料の7.1. 2.
1:48:35	10ですかね、にリーク量の根拠等を記した資料があります。もう一度ちょっと中身見て対応するんじゃないかなとちょっと今表だけ見て思いましたのでもう一度改めて確認したいと思います。以上です。規制庁アキモトです。確かにそうですね。なので、あれかな。これ見てて、横に並べればいいじゃんてちょっと思った。
1:48:53	だけなんですけど。はい。だから、何か、B固有だけだって、設備的にはもう違うのはもちろんわかってはいるので、同じ内容が、
1:49:03	同じものが入ってるかどうかっていう観点でも、見ていただいていると思うので、それをちょっと表していただければなというところですよ。
1:49:11	で、結局ですねそこは、
1:49:15	草野
1:49:16	で添付し、右の方の列の上ですけど、添付資料は対策の有効性を確認するための補足的な内容を記載したものであるため、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:27	比較表を作成しないっていう、そういう文言がまあいろいろ出てくるは出てくるんですけど、結局何か内容的に充足してるのかとか、そういった観点が、
1:49:38	重要なので、
1:49:40	補足的な内容を記載しているから、比較表を作成してないってそれってあんまり理由になっていないんで、ちょっとここは
1:49:52	表現だけではなくて、
1:49:54	だったらもう、なんすかね、比較表作っちゃえばいいだけの話だと思うんで、どっちが簡単かっていうだけですね。はい。
1:50:07	はい。北海道電力の和気です。やはり正直女川さんと、BWRとちょっとPWRで比較表まで作るとやはりちょっと、
1:50:17	何、何を比較したかよくわからないような状況にもなってますのでこういう形で刑務所については整理させていただいてますがPWRとの比較については、先ほど一番初めにお話があった通りやはり比較表があった方が、
1:50:29	確認もしやすいですし我々も、何か気づきがあるかも改めてあるかもしれませんで、作成する方向で検討したいと思います。以上です。
1:50:39	はい。規制庁の木本です。それで、
1:50:45	当然説明させて、
1:50:47	次のページの方は、
1:50:50	あれなんですよ
1:50:53	シーケンスTBUTDTBPはBといううん。確かにそうだねって思うんですけど、これ今後ちょっと、
1:51:02	そうですね、はい。はい。はい、そのようにしていただければと思いますので、別にあれなんですよ同じものを作ってるっていうんだったらもう正々堂々と書けばいいだけの話なんで。はい。に多様な作ってますよって。
1:51:15	宣言しちゃえばいいので、
1:51:17	はい、というところですよ。
1:51:20	ということで比較表の作成範囲っていうこの表も、少しいう言葉が変わってくるかなと思うので、これも、
1:51:29	精査していただければなと思います。
1:51:32	はい。実際の中身の比較表に入ってくと、
1:51:38	ここ、いいですね取りまとめた資料は特段コメントはないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:51:47	すいませんそことも取りまとめた資料の3番、S a a S3 ページですね。
1:51:53	で、2-4 の主な差異で、R C P シール部からの漏えい率で、これが最後理由が、
1:52:02	泊で国内実機評価に基づく値を使用しているってということなんですけど、これはあれですか
1:52:10	他社なんか先行で、同じのってあたりしますか。
1:52:14	はい。北海道電力の青木です。三菱製のR C P を用いているのは、逆に言いますと大井と高浜以外すべて、三菱製のものになっておりまして、逆に言うちょっと特殊なのが大井高浜になっているということになります。
1:52:28	わかりました。
1:52:29	はい、規制庁アキモトわかりましたすみませんあまり詳しくなかったので、ありがとうございます。
1:52:37	そうしましたら、
1:52:39	今の取りまとめた資料まではよろしいですか。
1:52:43	はい、じゃあ、中身入っていただいて、
1:52:48	7 ページは別にあれなんですけど、
1:52:55	そうですね。これからはあれなんで女川との比較で、皆さんにちょっとこういった観点で見えて欲しいなっていう感じで。
1:53:06	お伝えするかもしれないんですけど、2 ページのところ、
1:53:11	比較はしてないからっていうところではあると思うんですけど、
1:53:17	このため、期待することが考えられるっていうこれ、構文ですよ
1:53:24	言い回し。
1:53:26	の観点なんで、結局だろかた日寄ってその設備が違うとかもちろん違くていいんですけど、その説明ロジックみたいなのは合わせる。
1:53:37	室、合わせた方が最新の時、審査実績の取り込みになっていることになるので、
1:53:44	そこも、こういったところもご検討いただけますかね。
1:53:50	はい。北海道電力の青木です。今秋本さんがおっしゃった部分は我々もですね、認識しておりましてB、Dの審査を踏まえまして、改めて女川とのそういう差異をチェックします。
1:54:05	今おっしゃったところは前のパラグラフの本事故シーケンスグループはっていうところからですね、女川が炉心損傷防止、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:12	にかかわらずですね、他のCV破損防止とか想定事故を含めて、事故シーケンスグループ(2)の口、事故シーケンスグループの特徴及び炉心損傷防止対策の基本的な考え方で記載してる
1:54:25	言い回しになっております。ですので泊でも、二次系除熱なんかは翁長横に並んでませんけども、同じように、こういう記載、できるんじゃないかなというふうに考えておまして、そういう観点で今有効性評価全般ちょっと見なおしているところがございます。以上です。
1:54:40	検討してるというすいません具体的なまだまだつくれてないんですけどもそういう目で見ても、検討してるという状況でございます。
1:55:04	規制庁アキモトです
1:55:06	今進ん今のご回答の通り進んでいけば我々審査官と認識のずれっていうのがなくなっていくと思うので、
1:55:16	薄っと努力というか、ちょっと、
1:55:22	作業かかってしまうところがあるかもしれないんですけど、
1:55:27	もはや、
1:55:28	やるだけかなあとは、
1:55:31	思っで。
1:55:32	出ますと、っていうのは言葉遣いとかだけなんで、
1:55:37	結局B網んこだわって作って、
1:55:41	岩井いたんですけど、
1:55:46	合わせられないことはないっていうことなんだと思うんですね。で、ちょっとここで気になっているところはありますアノちょっと以降お伝えしたかったのは泊Pなんですけど、長期的には、ごめんなさい、2ページですね。
1:56:01	2ページで長期的にはっていう言葉なんですけど、これってあれなんですBの審査の時に少し引っかかって、
1:56:10	安間書記を使ってはいるんですけど長期って何か、じゃあ長期ってなんだよっていうことにちょっと答えられなくて、
1:56:18	結局、Bは安定状態2、何でしたっけ、安定状態に向けた対策みたいな
1:56:28	へえ。
1:56:33	どうでしたっけ。
1:56:37	3ページの方。うん。
1:56:39	3、
1:56:41	はい。
1:56:42	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:43	そうですねそんな安定状態に向けた対策としてっていうふうにはちょっと整理をしているので、
1:56:51	最新の審査実績に合わせるっていう観点だと、こっちの。
1:56:55	方にどうしてもなるかなとさらに言うとうそのpたって、別に変わりはないですよ。
1:57:04	ということ
1:57:09	その整理は、
1:57:10	できそうですか。
1:57:12	はい。北海道電力の青木です。今おっしゃった部分ですけども、泊でいうと2ページの下、2行目からが該当するかなと思って当初は、同等のことが書いてあるだろうということで、反映はしなかったんですけども最近の
1:57:26	審査実績を踏まえまして、
1:57:30	女川の、3ページでいう上から4行目の文章と、泊の2ページ目の下から2行目のまたの文章が同じような形で書けるように、書けるんじゃないかなというふうに、今我々見てるところでした。以上です。
1:57:43	規制庁秋本です。承知しました。
1:57:46	では、そのように進めていただければ。
1:57:50	よろしいかと思われませう。
1:57:55	へえ。
1:57:56	あとは細かい話なのですけど、例えば3ページの、
1:58:03	これらの対策だとか、多分比較していけば、当然差が見えてきてで、
1:58:12	これって別に何か、
1:58:15	こだわりはないところであれば、操作手順だとか操作手順、操作値で変えるしか。
1:58:23	ないのかなっていう感じですかね。
1:58:30	ちなみにこれはあれなのかなちょっと、可搬型タンクローリーって書いてくれる3ページの下の方の可搬型タンクローリーは、麻生なんですけどちょっとこれ気になって、
1:58:42	だというか教えてほしかったんですけどこれ、可搬型タンクローリーだけ参集要員に期待してるじゃないですか。これ、この
1:58:50	お2人だけなんですけど、
1:58:53	どうしても外からの人がいいっていう戦略なんですか。
1:58:59	北海道電力古谷でございます。殊、全交流電源喪失通で、その燃料補給が必要になる手段については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:11	常設の代替電源の代替非常用発電機という、代替の交流電源設備になるんですけども、こちらに燃料補給するのが一番、
1:59:23	最も早く必要になります。それもですね、事象発生から3時間後に
1:59:34	参集要員を確保する、
1:59:38	ことにしております、それで参集要員で十分時間が確保できて間に合う。
1:59:46	ことを確認してございますのでこの二名は参集要員というふうにしております。技術的能力の方でご説明していくことなのかなというふうに理解しております。以上です。
1:59:58	規制庁の木本ですその通りで大丈夫ですと。で、別に駄目ってわけではないので採集して、対応しますっていうのも柏崎でも、確かやってたと思うんで。はい、わかりました。
2:00:13	ええ。
2:00:16	等は、
2:00:20	4ページは、
2:00:27	4ページの下の差分ですかね。泊は常用母線っていう、電源電圧低でも起動する場合があるため等と記載で、
2:00:40	これってあれなんすかね。何でこんな設計にしてんのかっていうのがあって、
2:00:46	あります。何か、大井高間。
2:00:49	だけなのかもしれないですけど、
2:01:11	今、わからなければ書き込んでくれればそれでいいのでは、
2:01:16	すみません。了解いたしました。
2:01:28	北電シバタですここでも書いてある通り事がついてるっていうのは、その他の事象でもあるんでより正確に書いたっていうふうになると、他社と状況が違わないけれども、
2:01:39	よりベターな色彩として採用してる可能性があるんで、その場合は、その旨をご説明させていただきたいと思います。
2:01:48	はい。規制庁秋本です。わかりました説明していただければと思います。
2:01:57	は、5ページのところの最ワー、
2:02:01	青字ですけど、
2:02:06	この準備操作が勝講師過温破損シナリオで実施するから泊本部長で記載しないってことなんですけどこれ別に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:16	他の他社と何かあんまり変わりがないような気がして、何、何か、何のポリシーなんだろうとちょっと思ったんですが、何かあれ、どうしても書かない理由があったりするんですか。
2:02:29	はい。北海道電力の青木です。ちょっと確認させてください。より適切に書くのであればこの、うん。炉心損傷防止、
2:02:40	運転中のSBOの事象に関しては、本当にこれは不要だから、書かないで、CV破損の方の緩和層の方、防止に使用するもののためそちらで記載したってことだと思うんですけども。
2:02:53	もう一度すみません確認させてください。
2:02:57	規制庁秋本です大分古く作られたって、と思うんでちょっと何か、しょうがないかなとは思いつつ、こういったところも何ていうんでしょう。細かいところ多分、
2:03:08	質問されちゃうので、可能だったらもう書き込む大根じゃでも構わないので、はい、お願いしますと。
2:03:18	ええ。
2:03:31	この5ページの赤字の大井高浜ですけど、
2:03:35	青井たかもしれないすよね手順もそうです。宗井手。
2:03:39	補給水ピットから始まるくだりで、
2:03:42	可搬型大型送水ポンプ車にて補助給水ピット液雨水する。
2:03:50	あれなんですよねこれはだから、泊の線、単純な戦略の違いっていう感じですかね。それかもしくは先行でやってるんだったら、
2:04:00	潜航なんですっていう書き方もあり得るかなと思うんですけど先行の記載と一緒にいうか行くのもあり得るかなと思うんですけど、何か理由でありますか。
2:04:14	はい。北海道電力の和気です。申し訳ありませんもう1度確認させてください。はい、わかりました。
2:04:21	次のページ6ページですけど、
2:04:25	これもまた先ほどちょっと、
2:04:28	内野審査官からもあった緑色の話なんですけど、
2:04:36	補助給水流量、
2:04:38	でしたっけ。
2:04:39	違う。これはあれなのか。
2:04:41	でもそうですね。だから

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:44	緑にしていたら緑にしなきゃいけないのかなあってところが統一できてなかったりするんで、何ていうんでしょうこれってもしかしたら、
2:04:52	チェック。
2:04:54	の仕方2原因あたりしませんか。何か担当任せになっちゃって、
2:05:00	担当者はもちろん頑張ってるって思ってるんですけど、チェック、ちゃんとして、
2:05:06	出してくれているのかがどうか、
2:05:08	微妙だなんて思っていてこれ、こんなの、あれですよ。見れば誰でも。
2:05:16	なんか、うんって。
2:05:17	思うところなんで、チェックの体制って、大丈夫ですか。
2:05:27	はい担当が作ったものを、再度確認してるんですけども、こういったものがあるっていうのが、今確認されてますんで再度しっかりチェックして、
2:05:37	確認させていただきたいと思います。
2:05:40	んで間可能な限りこの比較表もやっぱり、ある程度の品質が担保されていないといけないと思うんで、ルールに従って作るんだったらそれでも、
2:05:52	その通りやっていただければなと思うんですけど、あとはここで、さっきもちょっと聞き逃しちゃったんですけど、流量計指示とか、
2:06:01	先行っていうか関電なのかが書いてあるじゃないですか。k入れる入れないもの話って、泊は入れない方向で整理をした
2:06:12	これって、別に何かなんかのポリシーですか。Bも。
2:06:18	ちょっと忘れちゃったんですけど、
2:06:20	はい。北海道電力のアオキですちょっとうろ覚えな部分があるけど泊宗理事の関係で、リュ
2:06:26	画面で確認する関係上系をすべて除いたというふうに記憶しておりますけど何かフォローありますか。
2:06:46	規制庁アキモトですわかりました。
2:06:49	あとは、まず、またこれもすごいこのSFのところ封水戻り隔離弁。
2:06:58	でもこれはあれなんすけど設備名称、
2:07:01	んですね、わかりました。
2:07:04	はい。
2:07:11	えっと7ページのところ行っていただくと。
2:07:20	マイク、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:22	7ページはあれですね多いが、のちよっと上ですけど添付資料二つあるじゃないですか。
2:07:31	泊は一つデータ化も一つだなあって思ってたんですけどここは点灯資料なんか二つある理由とあって、
2:07:39	見てますか。はい。北海道電力の大木です。基本的にそういうものは記載してるんですけどすみませんこれはちょっと抜けておりました別途ステータ整理表ですか。先ほど見た女川と比較したものです。それとの大井との比較も作っております。しっかりフォローできてることを確認しております。あのさ、
2:07:56	理由をちょっと追記したいと思います。申し訳ございません。
2:07:59	承知しました。はい。お願いします。
2:08:03	7ページは、
2:08:10	はい下の赤のところですね差異のところなんですけど、泊はアニュラス空気浄化ファンの起動のためダンパの手動開操作が必要。
2:08:22	これは、
2:08:27	手順の差異だよって言うてるんですけど。
2:08:32	他社は自動なんですか。
2:08:41	北海道電力古谷でございます。泊で言いますと、アニュラス空気浄化系の江藤工藤、空気作動弁への
2:08:54	代替空気供給、窒素分ポンベの接続って書いてありますがここが現場での薄操作でございます、
2:09:03	窒素ポンベをつなげればマニュアル空気浄化ファンの起動で自動で開きます。
2:09:11	衛藤ダンパーと言ってるのは、
2:09:15	ニュアンスから出てくるところの弁でこれは手動開操作ですので手順の違いだと思います。大井さんとかはアニュラス空気浄化系のダンパ
2:09:27	アニュラスから出てくる部分と、そのファンの出口あたりの、
2:09:34	ダンパーこれどちらも窒素ポンベをつなげて、ファンの黄色で自動化になるということで手順の違いかなというふうに理解しております。
2:09:45	以上です。
2:09:46	それは、規制庁アキモトですなんか別に、メリットデメリットがあるものではないって感じなんですかね。どっちでも別に買わないんですか。
2:09:54	はい。どちらにいたしましても

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:58	等、格納容器の過圧破損の事故シーケンスでもご説明していくと思えますけれども被ばく低減とかですね、水素排出の観点でニュアンス空気浄化系は起動しますけれども、
2:10:13	60分以内って被ばく評価の方の60分以内で起動できる手順と設備を
2:10:22	整備しておりますので問題ないというふうに考えてございます。以上です。規制庁秋本です。わかりましたじゃ格納容器側でまたお話を聞ければなというところですね。はい。
2:10:33	9ページ、すみません8ページは特段ないですが、
2:10:38	9ページは、寸別に何が問題とか、そういうわけではないんですけどちょっと聞きたいだけなんですけど
2:10:47	NのところCD香月再循環ユニットを使っているじゃないですかこれは何か。
2:10:56	あれなんすかね何か設計思想っていうか何か別にCDを使う。
2:11:04	体育使いたっていうか何か、これ選んでる理由ってなかったですか。北海道電力のイチタニと申します。
2:11:12	格納容器再循環ユニットABCで四つございますけれども、このSAにSA事象に対応するために、
2:11:24	何でCDだったかっていうのはあるんですがCとDの再循環ユニットのダクトに、ダクト開放機構、
2:11:35	温度でバーンと開くやつを設けております。ですので泊で今、その自然対流冷却に寄与することができる。
2:11:45	再循環ユニットの系統はCとDになっているというのが、
2:11:49	まず、現状でございます。はい。
2:11:53	あ、ごめんなさい。
2:11:56	北海道電力、タグチでちょっと付け加えます。
2:12:01	もともと、今お話ししたり、四つのユニットがあるんですけど、
2:12:07	海水系のトレンで見ると、ABがAトレンでCDがBトレイなんです。
2:12:12	で、うちのSAの対策っていうのは基本的にBトレインで達成するように作ってまして、関電さんの高浜のときは、
2:12:21	Aトレンだったんですね。
2:12:23	だからそのところでCEOで使う方がどっちの取りによるかによって変わってるっていうのがあると思います。
2:12:30	規制庁秋本ですわかりましたありがとうございます。
2:12:40	宮本さんが今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:12:43	お気づきになった通りで、Aの高圧注入ポンプ我々使うんですけれども、それは補機冷却をSAの手段でやるときに、トレンとして片側に寄ってやるよりも、
2:12:54	等への補
2:12:56	SIPだけは、その代替補機冷却をBトレンではなくて取りに持った方が対応しやすかったっていう、
2:13:10	規制庁アキモトです。そうしましたら、
2:13:15	と10ページを、
2:13:20	年鳥井。
2:13:23	経済ですね、10ページ特にはないですね。
2:13:40	11ページは、あれですねこれもまた添付がどう、どういうことでしたっけってだけなんですけど2.2.10で高間作っているのと、
2:13:51	泊がない理由って何かありますか。
2:13:56	はい。北海道電力の下衆の際の、旧の右下に書いてる通りでして、大井高浜の添付資料の内容は、泊では技術的能力のまとめ資料、
2:14:07	1.5議席能力1.5で記載しておりまして、ここではつけてなかったということですけども、有効性評価側に、
2:14:15	付けることも、
2:14:19	はい。ちょっと中身もう一度確認して、つけるつけない、細粒含めてちょっともう一度確認させてください。
2:14:27	すいません。規制庁アキモトをちょっと思い出しました。
2:14:32	結局、多分大井高間だって同じじゃないかなってちょっと思った。
2:14:36	ので、別にポリシーが、
2:14:40	なんつかないないってわけじゃないですけどなんか、
2:14:43	何かあるんだったら別にいいんですけど別に、1.5で整理してるって多分一緒じゃないかなと思うのでちょっと見、もう1回見てもらって、
2:14:54	つけていいんだったらもうつけちゃうっていう、
2:14:57	頭金肉にするしかないかなって感じがですかね。
2:15:02	はい。で、12ページです。これは、
2:15:09	これ、ワー
2:15:13	10ページを、
2:15:15	一緒ですね、
2:15:17	住民が違っちゃった。
2:15:21	そうですね一番上のところですね12ページの(1)の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:28	女川でちょっと言い回しが変わってるじゃないですか。そっか。それは何か。
2:15:33	こういった構文もう、
2:15:35	別にこの後、
2:15:37	に合わせた方がその最新の審査実績取り込みましたって宣言がしやすいんで、
2:15:43	ということぐらいですかね。はい。北海道電力の青木です。この言い回し、すべての女川の事象についてることを確認済みでして泊にも全事象に展開できるんじゃないかなというふうに考えております。以上です。
2:15:56	はい。
2:15:57	規制庁秋本です 13 ページすいませんちょっと長くなっちゃってますけど、すいません、13 ページのところでは、要員の配置の件がここで出てくるんですけど、
2:16:11	不確かさの評価の仕方なのところが、ここで差が出てきていますと。
2:16:18	いうところなんですけど、これ一、ちょっと私の感觸的には、別に整理の問題。
2:16:27	じゃないかなと思うんですけど、そこはいかがですか。
2:16:34	はい。北海道電力の大木です不確かさの差異についてはBWRとPWRで違うという認識しておりまして中身、
2:16:43	確認させていただいています。ただ
2:16:46	おっしゃる通りなのか整理の
2:16:50	違いだけで本当に何かやったこと全然違うかったらそんなこともなくて、操作条件に対する不確かさ要因がどう他に影響しないってことを
2:17:00	どのように説明するかっていう違いだ形だと思っておりますちょっと非常にな、悩んでるところです。
2:17:08	ということで規制庁秋本ですその最低炉型の違いによる差異ではなくて、ただの整理の仕方、さらにソフトももはや書かれては、実は読もうと思えば読めますと。
2:17:22	いうところだと思っはいますと、あとは、見せ方だけの問題
2:17:30	かなと思いますと、
2:17:32	そうなった場合は、もはややあ。
2:17:35	BとPの炉型の違いで整理はできないので、
2:17:40	てことはもう自明かなっていうふうに、
2:17:44	考えるんですけど、そこはいかがですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:50	はい。北海道電力の青木です。今秋本さんがおっしゃった通りろばたで整理できる共通でいえるものだと思っておりますので、他の審査資料、
2:18:03	含めて女川に合わせるという基本的な方針ですので、合わせる方向で、
2:18:09	検討したいと思えますけども正直これちょっと結構影響がありまして資料上に、ちょっと修正にはお時間をいただきたいかなというのが正直なところです。以上です。
2:18:19	規制庁アキモト7波2、その話が出たので、お時間というのが、
2:18:25	どんなもんなのかなって私もちょっとわかん、全シーケンスにはタールかなとは思っているので、
2:18:33	どれぐらいの整理の時間がかかっちゃうからってのはやってみなきゃわかんないのか、もうはや、取りかかっているのかちょっとわかんなかったんですけど。
2:18:43	大体ざっくりどんなもんなのかっていえる範囲で構わないので、
2:18:51	はい。北海道電力の大城です。
2:18:55	女川に合わせた記載は可能だっというところまでは確認してまして実際にまだちょっと書き始めたところ、段階にはありません。ただ全辞書に跨って反映が必要な項目でして、
2:19:08	うん。
2:19:13	今日ヒアリングを進めている中で、大分アオキもシバタも、シバタ北海道電力シバタです。最終的な仕上がりイメージを大分持つことができていて、
2:19:26	こうすれば仕上がるっていうイメージを非常に持つことができましたただちょっと、
2:19:31	手をつけてみないって一時消火やってみると最終的な終わりっていうふうなところに
2:19:38	見積もりかなというふうに考えてるんでちょっとその辺り今後見通しを示させていただきたいと思えます。
2:19:47	規制庁アキモトで承知いたしました。ちょっと私もやってみないとわかんないかなと思っはいるんですが、
2:19:54	そうせアノン中身の何かネタがあるんで、そんなに時間かかんないかなっていうのがちょっと私の個人的な印象ではあったんですけど。はい。すいませんちょっと先進めて、
2:20:07	行きたいですがちょっと、すいませんこれ大分長くなって、皆さんお疲れだと思うので、すいません、4時ちょうどスタートが良い人できるか

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	もしないって今ちょっと思ったので10分間ちょっと休憩させてもらってもいいですか。
2:20:21	はい、じゃ、そしたらすみません10分間休憩して4時に再開したいと思います。
2:20:29	はい、規制庁規制庁アキモトです再開いたします。
2:20:33	それでは、また比較表のところろうですけど、
2:20:40	すみません。
2:20:43	10数どこまで行ったかという13ページの要員の配置を、
2:20:48	お話しして、事故条件のところもう、ここはあれなんですけど
2:20:55	女川送電系統故障等によって少し何か故障の何かものを何かわかるようにしてはいるんですけど、これは違うんですか。
2:21:06	はい。北海道電力の大木です。差異については認識しておりまして、掛けるん同じようにかけるんではないかなというふうに思ってますけど、ちょっと設備予算的にどうでしょう、問題ないです。
2:21:20	外部電源喪失の北海道電力のフレーズです。外部電源喪失の要因を書いていると思いますのはですね同じように、事象、
2:21:33	要員書けると思いますので考えたいと思います。
2:21:37	規制庁秋本です承知いたしました。
2:21:41	そうしたらこれからのして聞いていうのは指摘というか、質問っていうのもあんまり差分の話は多分
2:21:52	言ったところで、またちょっと検討しますみたいな話になるだけだと思うので、そこはちょっと飛ばしてやっていきますんで、
2:22:03	後で何ていうんでしょうその女川等しっかり比較していただいて、資料出てきたものを見るっていうスタンスで、
2:22:13	やっていけば、ちょっと効率的かなと思います。今このままだったら、ちょっと私がずっとしゃべっちゃうと悪いので、はい。ちょっとそんな感じでやっていきますので。はい。
2:22:24	承知しました。
2:22:25	規制庁秋本です。そうしましたら、
2:22:29	あと、お伝えしておきたかったこととか、何か特に質問をしたいなっていうところがあれば、聞きますと、
2:22:40	ええ、そうですね。
2:22:46	少々お待ちください。
2:23:05	規制庁アキモトです。21ページで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:09	一応これで考え方だけ確認をしておきたかったんですけど炉心損傷のシーケンスで安定停止状態のキーワード。
2:23:19	使っているところがあって、結局BWRってベントも使うからではあるんですけど格納容器側も見てみた上で安定状態っていう言い方をしますと、これはオカたによらない。
2:23:34	はずだと思っているんですけど、そこは大丈夫ですか。
2:23:40	はい。北海道電力の大木です。
2:23:42	C Vの安定状態を見るっていう点では炉型に変わる。変わりはないと思うんですけども、事象事象に応じて、全くC Vの圧力温度が上がらないような事象に関しても、ちょっと記載するかどうかってのはちょっと
2:23:58	他の事象と並びを見て、ちょっと検討させていただきたいなというふうに思います。
2:24:02	規制庁秋本です。わかりました。ただ、もうなんすかね。BWRの場合って炉心と格納容器見るから、安定停止状態って言葉使わないで安定状態なんですっていうキーワードを使っているんで、そういった意味では別に変わらないと。
2:24:19	思うので、ここも整理の合わせ込みの一つかなというところですね。
2:24:27	はい北海道電力の沖です。かしこまりました。
2:24:34	規制庁の木元です。
2:24:37	そうしましたら、
2:24:40	ここもなGですね、1022 ページも、技術的能力でくっつけてますっていうのも、同じ整理かなと思ったり。
2:24:52	あとここ、技術的なところかもしれないですけど 22 ページの下の事象発生の約、泊ですけど、よく約 26 時間後に、意識圧力が 1.7 メガに到達するで、
2:25:05	26 頭、
2:25:07	高浜 13D 解析結果が違っているのはこれ 10 時間も違うのは、何か理由があるんですけど、これ。
2:25:18	はい北海道電力の大木です。プラントによって、多少違うところあるけどここ大きく違うということで
2:25:25	取りまとめた結果、
2:25:27	取りまとめた資料にも記載しておりますがシールリーク、RCPのシークリーク量がWestinghouse社製とMHI製で違うということで、大井高浜が4.8立米パーアワーに対して泊が1.5立米パーアワー

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ということで、そのリーク量の差によって泊は圧力が下がりにくいというところで差異が生じております。
2:25:48	規制庁秋本です。わかりました。すいませんこれってあれっす書いてくれている。
2:25:52	ところっていう理解でいいんですか。
2:25:57	はい23、2ページから3ページにかけて差異の理由のところを書いております通りでございます。
2:26:05	なるほど。
2:26:10	RCPリーク量から23ページの差異の説明の上から4行目のところですかね、赤字で書いてあるところですけども、泊はRCPリーク量が多い高間より少なく、
2:26:21	一次冷却材圧力の効果が緩やかになり、1.7MPa到達が、
2:26:26	遅くなるためということでございます。
2:26:40	はい。
2:26:41	はい。今のミヤモトは保険シバタです。差異の説明で今説明口頭で説明したようなこともしっかり書き込むことというふうに理解しましたので、
2:26:52	書けないものではないとこう考えます。
2:26:55	はい。北海道電力の大木です。比較表の14ページに、
2:27:01	解析条件を記載しておりまして、14ページの紙、一番下のパラグラフです、こちらに
2:27:08	大井高浜が4.8立米パーアワーに対して、泊が1.5立米パーアワーという具体的な数字も書かせていただいております。
2:27:26	規制庁秋本です。そうすると、次は24ページ行っていただいて、
2:27:34	ここも、最後の言い回しだけなんですけど安定停止状態が、うん。なんて状態かなっていうところですか。
2:27:42	あとは、25ページの要員の配置のところはまた不確かさの整理も、B2、
2:27:51	の最新に合わせられるところ合わせ込んでいただいてで、
2:27:55	P特有のところはもちろん変えなくていいので、あとは言い回しだけの、
2:28:01	話であれば、言い回しっていうか、その線最新市の審査実績っていう意味で取り込んでいる。
2:28:10	行くっていうことかなと理解してます。
2:28:17	は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:20	あそこで、
2:28:23	3、28 ページは、
2:28:27	添付資料は後半で書かれています。
2:28:36	えーとで 33 ページ。
2:28:39	テスト。
2:28:41	33 ページは、運転員等操作時間に与える影響のところで、崩壊熱の話を していて、これで、
2:28:53	すいませんこっから操作開始が早くなるんですけど、
2:28:59	これって結局あれなんですか、運転員等操作時間に与える影響って、
2:29:06	何なのっていう結論が、
2:29:09	書いてないのは何か。
2:29:11	あるんですけど。
2:29:13	ちょっとすいませんよくわかってなかっただけなんですけど。
2:29:18	はい。北海道電力の青木です。今ご指摘は、32 ページの投資、下の方に ある炉心崩壊熱を最確値とした場合っていう部分で、最後の
2:29:29	度合いが、操作が早くなるで終わっている部分。
2:29:33	という、
2:29:35	はい。ちょっと、
2:29:37	早くなるが、
2:29:39	影響小さいとかに本来はなる。ちょっと他の事象シーケンスと合わせて 記載のほうをちょっともう一度確認したいと思います。
2:29:50	規制庁秋本です。
2:29:52	先行Pが書いてないけれども、これって別に何か、
2:29:56	結論回転あげたほうがわかりやすいかなと。
2:30:01	思ったところがあったのでちょっと検討していただいて、
2:30:06	あまり
2:30:07	そうっすねそういう意味ではオーナーももちろん1個1個結論書いている ので、
2:30:14	そこまでやっぱりやるべきんだから何言って、
2:30:19	いうことになっちゃうような気がするんで、
2:30:22	ここで止めてた何か理由があればいいんですけど、はい、すいませんち よっとじゃけんご検討いただけるということで、
2:30:30	理解しました。
2:30:39	規制庁秋本です。
2:30:42	次のところまで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:45	行くともまとめになって、
2:30:49	まとめ結局、
2:30:52	ちょっと微bすの図整理でちょっと書いてみていただいて、
2:30:58	うん。
2:30:59	そぐわないことはないと思うんですけど、ちょっとこれで、
2:31:03	合わせ込みに行った結果をちょっと見たいと思います。
2:31:10	で、42 ページの要員のところですけど必要な (1) 必要な要員の評価 で、
2:31:18	事象発生 3 時間までに必要な要員で、
2:31:22	3 時間で切ってるのは、あれですよね参集要員が来るか来ないかの違い で書き分けてるっていうことですよ。
2:31:31	北海道電力古谷でございます。そのご認識でよろしいかと思ます。以 上です。
2:31:37	承知しました。規制庁アキモトですそうするとこの、すみませんまた細 かい話なんですけど慰労なんですよ。はい。本当に。すいません。こ れ私が、
2:31:50	チェックした時に本当に差分をチェックしているのか。
2:31:53	ちょっと、
2:31:55	ていう、わかるんですけど、はい。ちょっとそこも気を使って、
2:32:01	気をつけていただけたらいいのかなって感じですね。
2:32:06	はい。
2:32:18	規制庁秋本です燃料の評価のところとかも、結局ちょっとPR性にして いくと、少し
2:32:25	その合計使用料だとか、とかを明文しなきゃいけなかったりするかもしれ ないんですけど、
2:32:32	あそこはやっていたと。
2:32:35	9 ということと、
2:32:37	3、44 ページですね、44 ページの、ごめんなさい、これ、築地になっ てる場所。
2:32:44	なんですけど、これって、
2:32:46	いつ、随時じゃなくなる感じですか。アノというのは入る、いつこれ できるんですか。
2:32:57	北海道電力古屋でございます。ここの部分は下の、
2:33:01	通じ理由に記載してございます通り

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:33:06	屋外のルートの今検討中のところがありましてツイジしてございますけれども、
2:33:16	ちょっと詳細の敷設ルート屋外ルート詳細はちょっとまだ検討中でございましてちょっと
2:33:25	いつごろできるかについては、
2:33:30	少し確認させていただいてまたご回答いただきたいというふうに考えます。以上です。規制庁秋本です。そうする何かなんていうんでしょうなかなかこの
2:33:41	資料がフィックスできないのが、何か悩ましいなと思うので、何か。
2:33:48	何ですかねそのん見通しがあるのであれば、
2:33:52	いいなと思ったんですけど、今わからなければわからないでいいですけど、はい。今即答できませんので、別途、その辺の見通しも含めて回答させていただきたいと思います。
2:34:04	はい。以上です。
2:34:06	規制庁秋本ですわかりました。で、あとは、45ページの電源のところは、電源のところはBでちょっと拡充をしたのは私も記憶があって、
2:34:18	緊対所の整理だとかも、入れ込んでさらに、蓄電池の不要な機器、負荷の切り離しとかも、入れさせ入れ、
2:34:28	いるので、そこも多分、反映箇所になるかなというところですかね。
2:34:35	はい。
2:34:37	はい。で、最後の結論のところ、もう、
2:34:42	結局は、整理だけの問題になるはずなので、
2:34:47	こういったものも公文として、
2:34:51	やってみて、
2:34:54	いただく。
2:34:56	のかなって感じですかね。はい。
2:34:59	結局はその、
2:35:01	補日、DBとSAで方針がぶれないように、
2:35:05	やっていけば、
2:35:06	多分おのずと自明かなというところだと、
2:35:11	はい、お願いします。
2:35:16	先ほど秋本から話があった数字のところですけど、
2:35:21	当然まだ決まってないねっていうのは認識はしてるんですけど、
2:35:25	具体的にいつまでに決めるっていうのを明確に回答してもらいます。要は、事業者としていつを目標にここの数字が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:36	フィックスするんですっていうふうな回答をいただかないと、
2:35:40	今後の審査のスケジュール管理っていうところもあるので、数字のところを通じてそれ仕方ないところもあるんですけどいつまでっていうのを明確に回答していただいて、
2:35:51	資料に
2:35:55	それならそういうふうに書いていただくっていう形にさせていただきたいと思うんですけどいかがですか。
2:36:05	北海道電力の藤田でございます。今、宮本さんからいただいた指摘ですが、けれども、いつまでにということをしかりと明確に回答すると。
2:36:15	いうことを承知しましたので、次の追加はわかりませんが、明確に回答させていただきたいと思います。以上です。
2:36:30	北海道電力のイシカワですが、今宮本さんがおっしゃった築地に関しては、このSAとか今日やってるところだけじゃなくて、もう全般的なところ、こうおっしゃってるっていう理解でよろしいですか。
2:36:47	植野ですが、ものにはよると思います。当然、ちょっと、少し社内で検討させていただいていうのもあると思うので物によると思うんですが、基本的にやっぱり事業者としていつを目標にするかっていうのは、
2:37:00	しっかり決めていただいた方がいいかなと思って、必ずしも暦日で、お示しできるものばかりじゃなくてこういうタイミングでっていうのもあるそうだから今、別に次、次までっていうのを求めているわけではなくて、例えば今このアクセスルートに関しては、
2:37:15	少し、例えば耐津波とか、そういうところのお体しかわかんないんですけど、何らかの確認が必要なんで、
2:37:22	11月いっぱいとか、
2:37:25	10個、今年中、ちょっと遅いかもしれないですけど、そういう形ぐらいは最低でも示していただいて、我々と多分事業者の間でここはまだ、
2:37:36	フィックスしてないねっていうのが、いつまでにフィックスするっていうのを明確にしていくことが大事かなと思います。ちょっとすべてできずってわけにいかないしすべてを示し、どうできるかわからないですけどちょっとできるだけはっきりさせるっていう方向で対応するっていうことです。ちょっと勘違いして、DBのSEもそうなんですけど我々求めているのは別に次の、うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:56	多分、工程表とかは次の1時までにはやってくれって言うんですけど、できない場合はできないって言ってもらって、今、調整中で、いつまでにその工程表はヒックするんですか。
2:38:07	いつまでにここはセットできるんですかっていうのを明確にしてもらえればそれでいいと思ってますよろしくをお願いします。
2:38:36	規制庁宮ですそうですね。ちょっとこれ審査の中身と直接関係ないんですけど、今の話、ちょっと他にもいろいろあったんで、
2:38:46	今度今後スケジュールの管理の中で、その築地がある条文、
2:38:51	やっぱり明確にすべきでしょうと。
2:38:54	今、現状そのスケジュールにのっかって、多分まとめ資料をいろいろ出していただいている、グループ3まで今出ている現状なんですけど、
2:39:03	当然、今のステータスだと全部何か中身がちゃんとセットできたものが出されてるっぽく見えるんですけど、そうじゃなくてその数字があるものは、明確に築地があるので、
2:39:16	暑い時ありか何かの状態ステータスがわかるようには多分しといた方がいいかなと思うんで、ちょっとそこはクリアしていただくようお願いいたします。
2:39:30	今の辻有井のステータスんつの管理なんですけども、必ずしも工程表という形じゃなくて工程表だと多分、一時それすべて書くのは難しいと思うんですけども、その辺検討したいと思います。
2:39:45	規制庁秋本です。それでは、続いて、後ちょっと図表のところ、本文ではい。お願いします。
2:39:54	規制庁の方技術ちょっともうすでに検討されてるかもしれないんですけど資源の評価のところ、43ページなんですけど、
2:40:03	燃料ってどんだけ必要でどんだけあるから大丈夫っていうPもBもそういう書きぶりなんですけど、水源のところって、
2:40:11	P Tなんか補給を2、何か所管において補給と時間の点で書いてるんですけどこれ、
2:40:19	BWRみたいにどんだけ必要でどんだけあるから大丈夫であとは再循環なり何なりで、枯渇することはありませんみたいな書きぶりてここはちょっと、
2:40:31	検討されているんでしょうか。
2:40:35	はい。北海道電力の青木です。
2:40:37	正直ちょっとまだここも詳しくは検討できてないんですけども女川の記載を見て泊の方に反映できる場所は反映していきたいと思っておりま

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	すがPWRだと再循環に移行するってことが、やはりちょっとBWRと違うと思っておりますのでそこも踏まえつつ、女川を見て、
2:40:56	記載の方を検討したいと思います。ありがとうございます。規制庁の片桐様、単純に利用比較の方がわかりやすいと思うのでちょっと検討をお願いいたします。
2:41:09	規制庁のです。ちょっとわからないことがあるので教えていただきたいんですけども、蓄圧タンクの出口弁は途中で閉止するのって何で閉止するのかって、教えていただけますか。
2:41:22	北海道電力古谷でございます。
2:41:26	蓄圧タンクの圧力、圧力が下がってですね窒素、封入しているので、その
2:41:36	窒素封入を
2:41:39	RCSの一次冷却系に入らないように出口弁を閉めて、
2:41:45	自然循環というか、一次冷却系の循環を阻害しないように、地質を止めます。以上です。
2:41:54	／はありがとうございます。わかりました。
2:42:02	定期の流れですちょっと比較表の中、14ページでちょっと
2:42:09	確認したいんですけども、この比較表で、RCPの仮の話なんですけど、大飯34大上寝具ハウスのRCPを使って、
2:42:20	高浜34号もWestinghouseのRCPを使う、まず使ってるっていう、そういう理解でよろしいですか。
2:42:28	はい北海道電力の青木です。その理解でよろしいですか。
2:42:33	規制庁流れですそうすると、
2:42:38	何ていうか私の記憶だと、結構
2:42:41	漏洩量とかその問題になって、このダブキャップっていうやつで、そのウエスティングハウスがかなり詳細な実験やって、そのあと伊方のときに、
2:42:51	三石もその実験をやったと思ってるんですけど、その右の備考のところだとその表評価だけ。
2:43:00	実機評価っていうふうに書かれてて、何か
2:43:06	実験やってないみたいな感じがちょっと私も記憶定かじゃない名前なんだ。佐賀じゃないですけど、三菱もやってその学会か何かに公表し、下の中の形を公表した形で、
2:43:18	そういうものを使って使って評価とあわせてそのローリーをその

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:22	面積で割り戻したっていうふうに理解してるんですけどちょっとそこはちょっと事実関係はどうなんでしょうか。
2:43:32	はい。北海道電力の青木です。リーク量の設定根拠については添付資料の7.1. 2. 10というところに記載しております、
2:43:42	ちょっと、
2:43:44	おりますが詳細については、申し訳ございませんもう一度確認させて回答させてください。以上です。
2:43:50	一条永井です。わかりました。
2:43:56	規制庁アキモトです。じゃあ、図表種のところですが、
2:44:02	私からはですね、55 ページのところ、
2:44:06	これもこれはPとの比較だけなんですけど、格納容器自由体積が、大飯高浜書いてあるのに留まり、
2:44:17	ないなあっていうのが、誰が見ても気づくところなので、何か、
2:44:24	すいません、55 ページですね。
2:44:29	の、
2:44:30	何か、
2:44:32	入れられないのか、理由はあるんでしょうか。
2:44:35	はい。北海道電力の青木です。SBOに関してはCvの評価も行っておりますし、添付書のいわゆる不確かさをしてる表の方にはこの数字、泊の数字記載しております。添付書類10の方に記載することでも問題ないと思いますので、記載する方向で検討したいと思います。以上です。
2:44:51	規制庁アキモトで承知しました。
2:44:54	というような感じで、もう一度、さらっと見ていただいて、先行Pとの比較でもう抜けているようなところがないかどうかはしっかり、
2:45:04	事業者の方で確認をしていただければと思います。
2:45:09	はい。北海道電力の和気です。先ほど二次系からの純水の喪失でも同様のご指摘いただいたと認識しておりますので、改めて図表に関してもしっかりとチェックして、差異について確認していきたいと思います。以上です。
2:45:21	規制庁秋本です。で、61 ページの図なんですけど、これはもう、Bで、
2:45:29	より書き込んだっていうのも私も認識していて、外電まで、
2:45:35	多分、
2:45:36	だねっていうのを東京電力に行った記憶もあるんですけど。
2:45:40	そこまでやっているのでもずのブラッシュアップは、
2:45:46	やっていただくのかなと思ってますが、いかがですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:53	はい。北海道電力の青木です。おっしゃる通りだと思ってますしまたBWRは各中枢図が複数に分かれていまして注水なり、
2:46:05	急速減圧とか、括弧書きでそれぞれ何をやってるかってのもわかりやすく記載されているというふう認識しております、
2:46:12	この範囲についてもちょっと
2:46:15	内々で考えていたところでした。外電のを記載するしない含めて、概略系統図についても、今一度記載をちょっと検討したいと思います。以上です。
2:46:27	規制庁秋本ですPWRは店プーのまとめ資料の中に入っているのも私もマルバツ表は入ってるのは、切り換えはしているんですけどそれを落とし込むのが、
2:46:39	取り込んだ上で、足りないものを書くのかなって感じですかね。はい、わかりました。
2:46:45	それで、あとは、
2:46:49	あとは、また
2:46:51	と連動んになるんですけど、
2:47:01	71 ページまで飛ん、飛びますね。
2:47:08	んな、7.1. 2-8 の図なんですけど一次系保有水量の推移でシールLOCAが発生する場合は、
2:47:18	これを別に右と左で見てただけなんですけど、少し
2:47:22	波打っているのは何でなんだろうと思って、だから、
2:47:26	ほかの図を見ればわかるんですかね、4 時間以降、何か波打ってる感じ。
2:47:34	はい。北海道電力の大城です。今すぐちょっとそれっていうのは、回答できないんですけど 72 ページ以降
2:47:45	図でもう泊が変動が大きいように見てとれますこの影響で一次冷却材。
2:47:55	一次系保有水量も振動してるものと思いますので、今一度確認してなぜこの振動が生じているのか。
2:48:04	記載、
2:48:06	したいと思います。以上です。規制庁秋本ですわかりましたもし 71 ページじゃなくても 72 ページのところのクオリティーなんかでも、
2:48:18	いいんですけど、何か、
2:48:21	ぴょんぴょんってなってるところがあるので、少し、
2:48:24	解説をしてもらった方が、
2:48:28	いいかなこれ。泊。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:30	独自かなと思うんで。はい。
2:48:34	はい。北海道電力の青木です。先ほど、二次系除熱でもありましたが変曲点なり、挙動が泊で目立つ部分に関してはわかりやすさの観点で説明を追記していきたいと思っております。以上です。
2:48:47	規制庁秋本です承知いたしました。あとは、
2:48:52	多分一緒なんで 73 も 74 も同じなのかなというところですね。
2:49:02	と、
2:49:04	あとは、79 ページまで行っていただくと。
2:49:09	24 ズーなんですけど、これ格納容器雰囲気温度の推移で、
2:49:16	シールLOCAが発生する場合なんですけどこれって、
2:49:21	雰囲気温度が何か、右肩上がりになってませんか。
2:49:29	これで何か終わっちゃっていいのかなってというのは、
2:49:33	何かよくわからなくて、右肩上がりになっているように見えるんですけどそうではないですか。
2:49:40	はい。北海道電力の大城です。こちらに関しましては添付資料の方で次のページですね、7、80 ページに長期の
2:49:52	Cvの協働を示しております、おっしゃる通り 24 時間段階ではまだ上がっている状況ですけれども、
2:49:59	最高使用圧力到達、
2:50:02	100 自然対流冷却を 81 時間で開始しまして、その後はCV圧力温度が安定している状態を確認しております。以上です。
2:50:14	規制庁アキモトすみませんちょっと長期の方見てなかったじゃ、失礼しました。ありがとうございます。
2:50:20	それでええと、
2:50:22	20、
2:50:24	6 図、あ、ごめんなさい、T大井の 26 図 80 ページで、26 図とかだと最後に
2:50:32	終着点の温度とか圧力書いてるんで、
2:50:37	これもこれはどちらかといえば、合意の記載の方が何かベターかなっていう気がするんで、
2:50:44	ご検討いただければなというところ。
2:50:48	はい。北海道電力の青木です。同様に最後の 600 時間の時点の圧力温度を記載する方向で検討したいと思います。
2:50:59	規制庁秋本です。81 ページ行っていただいて

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:04	と、ちょっと図を見て、あまり理解はできなかったんですけど、 7.1. 2-28 図、
2:51:12	2-1 次冷却材温度の推移なんですけどこれが、
2:51:16	何か他社と違って、25 時間ぐらいのところで、何て言うんでしょう低温側と、はい。
2:51:27	の温度があまり寄ってないような気がしてこの解析だから、
2:51:32	泊は、
2:51:34	何て言うんすかねこれ、何か理由って何かありますか、この何か。
2:51:38	どちらかといえば高浜大井もなんか寄ってって、低温側配管とかとか言 ってってるイメージなんですけどあんまり言ってないなっていうのは何か。
2:51:46	あるんですか。
2:51:57	はい北海道電力の青木です。シール LOCA が発生しない場合、いわゆる シールリークですのでリーク量なんかも関係してくるかなと思ってま すが 1 度確認させて、
2:52:09	回答させてください。以上です。
2:52:11	はい、規制庁アキモトです承知いたしました。
2:52:14	82 ページは、ちょっと単純で、
2:52:18	29 図なんですけど、
2:52:23	35 時間まで引いてるんだったら 35 時間まで線がないと。
2:52:30	おかしくないですかっていう気がしたんで 30 時間で解析やめてたりし ないですよ。
2:52:41	はい。北海道電力の大城です。ちょっとこれは確認させてください。申 し訳ありません。
2:52:49	規制庁アキモトで承知しますと見せ方だけなのかもしれないですけどスケ ール、書いてもらってもいい、いいですか。何かちょっと違和感がある のであまりなんか、
2:53:01	なんかねグラフの途中で切ってる図ってあんまり見たことない気が。
2:53:08	するので、そういう意味であれですね前の図も一緒に 18 図とか本当 に、確か切れてるっちゃ切れて、
2:53:18	北海道電力のです。秋本さんのおっしゃる、まさにその通りだと思いま すので
2:53:23	解析があるのかないのか、確認した上で場合によってはこのスケール、 35 時間までではなくて 20 は大飯高浜同様 28 時間にするなど検討したいと 思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:53:35	はい。
2:53:35	規制庁秋本です承知いたしました。
2:53:40	じゃあ、83 ページは、
2:53:43	83 ページワー
2:53:45	何かなんて言ったらいいのか、あれですけど、高浜同意なくすごくガーターってブワッって何かすごく理系じゃない表現ですけど、
2:53:55	何かこれ、
2:53:58	何がどうなって、泊はそんな静的な感じなのか。
2:54:04	何か、
2:54:05	あるんですかね。
2:54:07	これは、そういう意味では、こういう、これって多分参与説明の、備考に書く。
2:54:13	レベルかもしれないですけど、
2:54:16	はい、北海道電力の大木です。
2:54:18	この部分、正直何かあったような気もするんで、確認しますけれどもグラフの表示の仕方とかですな様々な理由があるんだと思います。差異の理由のところにはしっかりっていう書き込みたいと思います。以上です。
2:54:31	承知いたしました。規制庁沖本です何か、
2:54:35	別に他社分析をガッツリやってもらいたいわけじゃないんですけど何か泊の解析が信頼性があるかどうかっていう観点にもなってくるかもしれないので、しっかり、
2:54:47	分析してもらってもいいのかなってところですね。
2:54:50	はい。北海道電力の下、明らかに三田が三田、見た目で大きな差異があるところにはしっかり再利用書き込みたいと思います。以上です。
2:55:00	すいません規制庁長井ですけど、ちょっと今の話と関係、関連して
2:55:05	72 ページのところ2、
2:55:08	やっぱり昼ロッカーを仮定した時の何かまたスキーがかなり傾向違ってらんですけど、さっきの話だと大井と高浜さんやWestinghouseタイプのRCPで、
2:55:21	シールをやってるんで、もう一つ、この泊3号と同同程度の
2:55:28	そういうループの例えば伊方の三菱のシールを使って、RCP使ってる解析結果ってというのが泊と同様の傾向であったら、まとめりそんなに。
2:55:38	言い方と同様だっていえるんじゃないかと思うので、そういう観点でも、ちょっと比較していただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:45	はい。北海道電力の大木です。おっしゃる通りだと思いますので、同じ三菱製のRCPを採用している方なんかの解析結果も、確認、しっかり確認したと思います。
2:55:55	規制庁アキモト。
2:55:59	フジタアキモトすみません今の観点だともう何ていうか、比較表の作り込みだけなんすけど女川のところ空欄だったら、女川のところに載せちゃうっていうのも手かなって思うのでそこは工夫していただければと思います。
2:56:33	規制庁アキモトでその他何かございますでしょうか。
2:56:39	よろしいでしょうか。
2:56:49	規制庁秋本です。あとは
2:56:52	添ぷーを、
2:56:55	見る感じにはなるんですけど、
2:57:00	全部は、
2:57:07	作りとやっていって、
2:57:14	そうですね。そういう意味では店舗も、別に今聞いておかなきゃいけないところはないので、大丈夫かなと思うんですけど添付で聞きたいこととかありますか。
2:57:25	よろしいですか。はい。
2:57:27	そうしましたらちょっとやりたかったことの有効性のSBOは、
2:57:33	終わったの
2:57:35	どうしましょう次設備をやるのであれば一つ。
2:57:40	やりますか、45条。
2:57:43	どうします。何か
2:57:46	どれを見たいとかあればあれなんですけど、
2:57:51	女川との比較の観点で設備とか手順の方がどうなってるのかっていうのであれば54条の方であれば女川が張ったものの比較表で今日お持ちして、
2:58:02	お持ちというか、アイテムとして挙げてますけれども、
2:58:06	今日のやってる感じがするとそちらで話した方がいいかなという気がします。規制庁アキモトそうですね
2:58:13	今、あまりその先に設備の、
2:58:17	なんすか45条とかをやっていくよりは、S、そっか。
2:58:22	でもあれっすね。そういう意味では、
2:58:26	どうした方がいいのかなあ、でも設備も1個見た方が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:30	先に作業ができると、そういう利点があるんだったら、そうですし、SFPあるんだったら、
2:58:38	有効性の比較表から言ってもいいような気もしたけどそれやっちゃうとすごく長くなりますもんね。
2:58:46	と、そして、54条やってみます。
2:58:50	でも何か頭が切り替わらないですか。大丈夫ですか。
2:58:59	藤街北海道電力田口です。概要とかの部分、要は適合性とかそういうところはとりあえず、
2:59:08	ご理解いただいているという前提で、
2:59:11	最新審査実績の取り込み方とかでこういうところが、
2:59:15	ちょっと気づいていますというようなところをお伝え願っているのであれば、
2:59:19	54がいいかなとは、
2:59:22	思いますけど。
3:00:22	規制庁秋本です。そうしたら、54条の比較表から、
3:00:29	やっていきたいと思いますが、よろしいですか。
3:00:59	規制庁アキモトでそうしましたら、54条の比較対象の選定のシートからですかね。
3:01:08	行って、
3:01:11	いただいて、
3:01:21	これはですねあれですね
3:01:24	選定の詳細のところで確認したかったのは、選定の詳細のこの表ですね、表。
3:01:33	選定の、いやこっちの下の、
3:01:36	方ですね。
3:01:38	正常分、
3:01:40	結局、やっぱり
3:01:43	何ていうんでしょう反映すべき知見を得るための主な方法で、①で女川のところ文単位の比較は行わないってなっちゃってるので、もうそこで何か、
3:01:55	切っちゃってるのが、まずちょっと考え方が、
3:01:59	DBと相違しちゃうのでここは多分、
3:02:05	今日のお話を踏まえて、
3:02:07	修正されることになるのかなとは思ってはいますと、そういう理解でよろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:14	はい。北海道電力のイチタニでございます。文言単位での比較。
3:02:23	規制庁アキモト3行目に、文言単位の比較は行わないって書いてあるじゃないですか。
3:02:28	はい。はい。
3:02:30	はい。
3:02:35	はい。
3:02:37	ありますね文言単位。
3:02:45	はい。
3:02:47	54条の場合は今回
3:02:51	北海道電力のイチタニでございます。
3:02:54	50条の場合は、女川を右に貼ってはいるものの、これまでと言うかと、当初を作ってた意識は、
3:03:05	重要なところは取り込むけど文言の退院まではやらないっていうのが、当初、やっていたことなのは事実です。
3:03:15	しかし、デービー審査なり、有効性も、
3:03:21	あわせて当社のスタンスとして、合わせ、技術的に無理なところを除き、合わせるところは合わせていく方向で、
3:03:32	やっていきたいと思います。
3:03:36	規制庁アキモトですわかりました。ここも適宜修正。
3:03:41	されるということで理解しました。
3:03:45	で、この表はよろしいですか。
3:03:49	ちょっと。
3:03:54	何でしょう、ステップ点
3:03:58	やつでしたっけ。
3:04:00	添付のやつもう。
3:04:02	女川と比較してくれているやつがあるんですけど、
3:04:10	これがあれですね1個目、1個目とか3.1.1のところはバツから0になっていて、
3:04:20	基準適合の追加サクセス通じリストに記載する、
3:04:26	吉井
3:04:31	でこれが目次のみと比較とするってなっちゃってるので、
3:04:37	本当に目次だけで、
3:04:40	いいのかどうかもう、
3:04:42	いや、
3:04:44	対応手段が大きく異なる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:48	対応手段が大きく異なるっていうのも何か、今回抜けて見直す。
3:04:53	感じでいいですか。
3:04:57	北海道電力のイチタニです。まず、
3:05:03	添付資料という書類、
3:05:06	従来PWR審査では作っておりませんでしたので今回作りましたというところがまず初めにあります。それに対して
3:05:17	ですので、大井で、添付資料とか作っているんであれば多いと並べることとかできますが、それは
3:05:26	内々と比較対象がないと、女川、
3:05:29	この54条、SFピット冷却に関して言えば、似たような手段ですので、
3:05:42	つく。
3:05:43	並べようと思えば、
3:05:46	並ぶ。
3:05:48	かとは思いますが、これ
3:05:50	54条に限らずその44条から、正常分、全般に関して、
3:05:58	結局
3:06:01	45条であれば、
3:06:04	一次系のフィードアンドブリードとか二次系の例、SG二次側を使った冷却とかは、全くBWRとは手段が違いますので、
3:06:14	その
3:06:16	詳細な機器とかを記載している添付資料のレベルで、
3:06:20	比較しても、あんまりな
3:06:25	正直な気持ちでいうと、手間の割にえられる効果は少ないんじゃないかというふうに思ったのは正直なところですよ。
3:06:35	ただ、何でしょう。
3:06:39	目次構成としてですね、まず最初にその重大事故対処設備を挙げ、その手段に対して、ちゃんと43条1項1号への適合性2号の適合性、
3:06:51	そんなようなことを、
3:06:54	を整理して、基準適合性を示すための添付資料。
3:06:59	なんて言うんだと同等の構成で作ってますよというのを示すという意味で、目次レベルでの比較。
3:07:10	というふうに、
3:07:13	さしていただいていた。
3:07:15	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:17	規制庁アキモトですね今回、これからというか、
3:07:23	45条とかワー、そんなもしかしたらそうかもしれないですねあまり図を並べたところで、関係ないじゃ関係ないので目次レベルで比較するっていうのもあるかなとは思いますが、だから、
3:07:36	何だろう、ちゃんと、
3:07:40	必要な書類がそろっているっていう観点で、説明できるレベルのものがあつたらそれでも構わないと思うので、ちょっと、ものによってということで、
3:07:51	はい、理解しますと。
3:07:54	はい。ものによっては承知いたしました。はい。
3:08:00	宮本ですけど、これDBでも話があつて、
3:08:05	例えばここで言っている、
3:08:09	54-2。
3:08:12	単線結線図。
3:08:15	ありますよね。はい。
3:08:17	単線結線図が、
3:08:19	女川だつた翁長じゃなくてこの回答だと補足説明資料 54-6 において記載していますと、はい。
3:08:27	54 というのは容量設定根拠になつていて、
3:08:31	何をまず言ってるかがよくわからない状態になつていて、
3:08:35	ごめんなさい。54-6、北海道電力イチタニです。54-6 って書いたのは、
3:08:43	タンケツのあるなしで、番号がずれてしまつてました。すいません。審査会合資料で、はい。審査会合資料になつてるんだけど、審査会合審査会合資料になつてるんだけど、審査会合資料で、
3:08:57	単線結線図があつてるんですかつて言われた時に、一応こう、
3:09:02	後ろを見たときに、
3:09:05	言われてるのは 54-6-16 の底と言われているんでしょうかね。
3:09:10	例えば、
3:09:11	54-6-16 ページ数 51 ページの下のページ数のページです。
3:09:19	ちょっと、
3:09:20	ちょっと確認します。
3:10:25	はい。北海道電力のイチタニでございます。はい。54-6-16 ページに単線結線図。はい。あるのでそれのつもり。
3:10:34	記載しています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:37	規制庁宮ですけど、多分そうだろうなと思ってるんですけど。
3:10:41	これ、泊の場合は、この54-6の審査会合資料っていうものの中に、
3:10:47	全部入れてると。
3:10:50	この位置付けがちょっとよくわからない資料になってるんだけど、はい。
3:10:56	デービーでもあったんだけど
3:10:58	単線結線図が、
3:11:00	先行に比べて非常に粗いと。
3:11:03	はい。
3:11:04	なので、しっかり企画してもらって、例えば、高圧までしか書いてなくて、MCCここ書いてなかったりした図がDBについてたりしてて、
3:11:15	そういうありませんっていう備考になってたりするので、そういう意味でよく見てもらわないと、ここで書かれている内容が、例えば先行で、女川で同じように、
3:11:25	配置図だったり対し単線結線図であったり系統図っていうものが、同じレベルのものがついていないからよく確認してもらいたいですよ。
3:11:35	だから、単なる系統図を同じような系統図が荒い系統図であったり、新井配置図って歩いて評価できるって要は、クオリティが違うものがついている場合っていうのは、
3:11:47	明るい明らかにそれはやっぱり比較表上落ちるので、
3:11:51	そういうところをよく見見た上で、×ならバツっていうふうにしてもらわないと、その今の現状をちょっとデービーの資料だけを見る限りではそういうのが結構確認されているので、
3:12:04	そういうのは後段のそのBWRの資料なり何なりで、非常に
3:12:10	資料を厚く厚くしてるよくしっかりした資料が作られてるっていうことを踏まえて、よく確認してもらいたいと。そうしないとここ、一概にこれだけ見るだけだと、
3:12:20	ついてますっていう話だけではなくて中身を見てみないと駄目なので、そこはよく見てもらえますか。
3:12:28	はい。中身、記載のレベルとして同等であるかというところは確認したいとも言います。
3:12:37	今、おそらく単線結線図そうそうですね、単線結線図。
3:12:47	はい。そこまで見られる
3:12:49	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:12:53	規制庁宮ですけど、要は信用してないわけではないんですけどそこまでしっかり見てみた上で、ここで十分な資料がついてますかっていう回答していただかないと、はい。
3:13:04	駄目なので、そこはよく確認してくださいという意味なんですよはい。
3:13:08	承知いたしました。
3:13:12	規制庁秋本ですそういう、その確認したもののエビデンスとして比較表が必要だったらやっぱり比較表を作って示すってことも一つ手かなと。
3:13:22	思いますので、ご検討いただければいいかなと思います。
3:13:40	規制庁アキモトにそれではじゃあ中、比較表の中身に入っていきます。
3:13:51	まとめ資料ん取りまとめた資料1ページは、基本、
3:13:58	なしなしの嶋氏で、
3:14:01	あれですかねこの、
3:14:04	1、
3:14:09	はい。
3:14:14	はい。
3:14:19	規制庁秋本ですんで、取りまとめた資料2ページのところは、
3:14:25	ちょっとこれは教えて欲しいだけかもんになるかもしれないんですけど、
3:14:31	あれなんすかねり全面ディーゼル発電機燃料輸送ポンプや燃料油移送ポンプっていうのを入ってるのは、ただ、
3:14:41	予定的にこの、
3:14:43	ポンプが必要だったっていうだけ。
3:14:47	っていう感じですかね。
3:14:56	はい。衛藤北海道電力の古谷でございます。
3:15:00	江藤磯燃料の補給手段としましては可搬型タンクローリーを用いまして燃料貯油槽から直接、
3:15:10	くみ上げる手段と、ディーゼル発電機の燃料貯貯移送ポンプというものを、
3:15:19	使いまして、燃料湯の長予想から、ポンプでタンクローリーまで移送するという二つの手段を用いまして、
3:15:29	アクセスルート等の2ルートを確保するという手段をとっております、移送ポンプを重大事故と対象設備として配備しております。
3:15:40	以上でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:15:43	規制庁アキモトすいません見れ2ルートを確認するため2ポンプがあるってことなんですか。何かよくわからなかった。すいません。
3:15:56	すいません北海道電力田口です。理解されました。
3:16:03	今、適切な図がないんですけども、貯油槽の設置している箇所がちょうど、
3:16:10	一方通行の行きどまりの一時とと思ってください。
3:16:13	ですのでそこにルートをセットするのがまず無理なんです。
3:16:17	必ず1ルートでしかたどり着けない位置に燃料貯油槽が行きどまりの位置にあります。
3:16:23	ですので、
3:16:25	その油を2ルートから組むために、その油を直接組に行くその行きどまりで道を行くのが、上の方に書いてある手段です。直接組みますと、そのルートが使えないときでも、
3:16:37	別なところから組めるように移送ポンプで、
3:16:40	一度繋がってるところに送ってやるっていうイメージです。
3:16:44	伝わりますか。
3:16:48	はい。規制庁アキモトです距離的に大分離れてるっていう意図ですかね。
3:16:56	はい。建屋の東西面という
3:16:59	わけになります。
3:17:01	規制庁秋本です。わかりました。はい。
3:17:08	サービスタンクは、DBの、
3:17:11	ディーゼル発電機の何だ、デイタンクって言ったらいいか。
3:17:17	はい。燃料供給に1回持ち上げておいてそこから燃料を落とすためのタンクなんですけど、そのところについてのディイタンクの分岐度1から、
3:17:27	油をホースで引っ張って出すっていう、
3:17:31	システムの繋がりに変えている。
3:17:34	ものです。
3:17:52	規制庁秋本です。わかりました。それでは、続いて、
3:17:59	次のページは、
3:18:02	特にはないですけど、
3:18:07	1台で、
3:18:08	補正をされるということですねはい理解しました。
3:18:14	よろしいですか。本文に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:18:17	て、
3:18:19	54-1 ページからですけど、結局このあれですね、BB合わせ、
3:18:26	ということだと、この
3:18:29	概要図のところの整理なんかも、ちょっとやってみていただいて、
3:18:34	てところかと思ってますけど。
3:18:40	54-2 ページのところは、
3:18:51	ちょっと言い回しが女川と違う。
3:18:56	何だ、これは、
3:18:58	基準の用語。
3:19:00	持ってきているのか。
3:19:03	ちょっと不明ですが、ここの辺りも、
3:19:09	整理だけの問題であれば、踏襲するのかなというところですかね。
3:19:16	はい、ありがたいは北海道電力のイチタニです。
3:19:19	この54-2 ページの上の方の部分のことかと存じます。この使用済み燃料プールの冷却機能または注水機能が喪失し、小規模の水の漏えい、
3:19:34	という文言。
3:19:36	というのは、54-1 ページにも、
3:19:41	ほぼ同じことが、この50条の条文要求の裏返しのような表現だと認識してございますが、
3:19:48	54-1 ページに、ほぼ、
3:19:52	あとPWRにおいても、泊においても、その相違、その表現は、ございます。
3:20:00	なので、
3:20:01	何ていうんでしょう。今までは、あまり女川に寄せる活動を正直してきておりませんでしたけれども、
3:20:13	条文要求に関しては54-1でも述べているので、重ねて書くようなことはせず、
3:20:25	破損したときに使う設備を設けるということ、
3:20:30	稲見に記載していたっていうのが、
3:20:34	理由なんですけれども、ただ、
3:20:39	なんて書けない理由はございません。
3:20:42	はい。はい。はい。
3:20:45	規制庁沖本ですそういう意味で、自明なことの一つなのかなというところですので、
3:20:54	検討していただければいいのかなということですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:20:58	承知いたしました。はい。
3:21:01	こういったことで、
3:21:03	結局、
3:21:06	見比べてもらうっていうのが結局何ていうんでしょう
3:21:10	もう1回やってもらうしかないような状況ではあるので、
3:21:19	今ここであまり詰め、
3:21:22	る作業をしてもしょうがないのかなっていうのを、今、思っているところですので、
3:21:31	今ちょっとちょっとやってもらった上で、
3:21:34	どうしてもここは違うんですっていうところからスタートした方が、ヒアリングもその方が、
3:21:42	適切かなとは思いますが、どうですか、どうしますか。
3:21:47	北海道電力イチャニです。54条に関して言いますと、50条に限らずなんですけれども、ちょっと、
3:21:58	結果の書き方た。
3:22:01	柿木。
3:22:02	暮らしていく上で、
3:22:06	ちょっと気になるところ。
3:22:08	こちらからご相談させていただきますと、54-4ページ。
3:22:18	の第1パラグラフですかね、
3:22:23	第1パラグラフの一番末端ですけれども、まあね。
3:22:27	重大事故等対処設備として、女川であれば、燃料プール代替注水系括弧可搬型を使用する。
3:22:36	という、何ていうんでしょう
3:22:39	その下に、燃料代プール代替注水系はポンプ車ホース何とかで構成する。
3:22:46	まず、
3:22:48	何というか、グループ名みたいなことを書いて、そのあとそのグループに所属する設備を書くみたいな書き方を
3:22:57	をしています。で、
3:22:59	従来PWRであれば、大井でも泊でもそうですけれどもこういったときに使う可搬型代替注水設備、カック使用済み燃料ピットへの注水として、
3:23:11	もう個別設備、送水車だポンプ車だ、
3:23:15	ていうような書き方をしております。ここは書き方が違う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:23:23	けれども、
3:23:29	ここ、
3:23:31	何でしょう。
3:23:32	グルーピング名称を新たに作るとなるとですね、またちょっと、
3:23:38	悩むなあとかいう、
3:23:40	ところは、
3:23:44	ちょっとこう、
3:23:46	女川と並べてみた時の、
3:23:50	悩んでたところではあります。
3:23:58	規制庁アキモトですそれは、グルーピング名称っていうのは、系統ん
3:24:03	系統名ですかね、練りをプール代替注水系（ハ）可搬型、
3:24:11	系統名、
3:24:13	系統名で書いてるんですねえ。
3:24:19	この使用済み燃料ピットへの注水っていう手段。
3:24:25	我々は使用済み燃料ピットへの注水っていう手段。
3:24:37	ん。
3:24:39	基本的には、今のやつもPとBの炉型の違いでは整理できないはずなんで、この整理でやれるはずふうんですよね。
3:24:53	はい。
3:24:55	受けとめを。はい。つくればいいと思います。はい。
3:24:59	多分、
3:25:01	今、BWR数3社4社終わってるけどこれ系統名ってのは多分明確に書いて、多分どこのサイトも書いてあって、
3:25:10	これちょっと設置許可は関係ないかもしれ工認に行ったらちょっと。
3:25:14	山注水系終わって系統名を書かなきゃいけなくなってくるんだけど、
3:25:19	それを踏まえると今整理しておかないと。
3:25:27	また、ここに行ってその辺整理し直すんですか。
3:25:32	工認に行った時に系統名が、要は、この系統に属するようこの
3:25:38	要は、例えばこのポンプをこうて構成するのはこのバルブこのバルブ、このポンプで一つ、例えば、RCPの系統ってなったり、あるし、だから、
3:25:48	二次冷却系とか一次冷却系とか、
3:25:51	それぞれの系統名って入ってきますよね。
3:25:55	で、これは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:25:58	多分センコーとか、カード柏崎とかBWで当然燃料プール代替注水系っていう系統がまず新しく作る系統で、それを肯定するのはこれとこれとこれですよって書いてるだけだと思うんですよね。
3:26:12	で、それが泊は、
3:26:16	グルーピングをしてるしてないだけの話をしてるんですよね。
3:26:23	グルーピングってギガベクレルけど、普通、
3:26:26	新しく設置する系統名って、
3:26:30	系統水低角。
3:26:34	なんで、それができないところがちょっとわかんない。
3:26:43	北海道電力田口です。今お話されてる内容っていうのは、
3:26:47	54-4 ページでいくと、泊も女川も表題のところに書いているものを、今おっしゃってる系統名というものを、
3:26:58	呼んでるんじゃないかと思っています。
3:27:01	我々公認の世界に行っても使用済み燃料ピットへの注水。
3:27:06	のためとかちょっと正確にはわかんないですけど、こういう設備を使用するっていうような書き方を、
3:27:12	していると思っています。
3:27:15	で、
3:27:16	これが、
3:27:18	新しく設置した系統面を、
3:27:20	すべて設定しているんだよってなると、
3:27:23	我々別に新しい系統名ということじゃなくてこういう機能のものの要求があるんでそれに対応した設備を用意して、系統機能が出るように作りましたっていうような記載になって、
3:27:34	出るんですよね。
3:27:43	だから基本設計方針のところこういう機能を有する。
3:27:47	ものを設ける。
3:27:48	ですよ。
3:28:00	カラー。
3:28:01	なんて言ったらいいかあれですけど、
3:28:11	我々の規制でも使用済み燃料ピットへの注水。
3:28:15	を使用するという書き方は別に何もおかしくなくて、
3:28:19	その使用済み燃料ピットへの露水はオンちゃうんちゃうんちゃうっていう、女川の記載のように2段落目に書くっていう間に一つその
3:28:29	表題についてる呼び方を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:28:31	挟むか挟まないかっていうところであれば、
3:28:34	できるかなと思いますけど、いやいやそれがあつたら、新たな系統名なんだよっていうと、使用済み燃料ピットへの注水っていう系統メディア、もう明らかにないので、
3:28:50	うん。その集団を系統米と呼んでいる。
3:29:03	すか。ちょっとこちらで打ち合わせしますはい。
3:30:27	規制庁美馬です再開します。今言われてる内容も我々Pの方も確認しなきゃいけないので、全部確認できてない状態で今、一番に回答はできないんですけど
3:30:39	そういう意味だと女川の今書き方の構文を維持した状態で、例えば燃料プール代替注水系可搬型はっていうところを、使用済み燃料ピットへの注水はっていう主語で、
3:30:52	何々で経営して使用するだ、何とか注水することで、できる設計とするっていうふうな、構文を維持した状態での記載はできるかっていうのを検討してもらった方がいいかなと思うんですけど、いいですかね。
3:31:07	はい。
3:31:09	おっしゃってるコメントの内容は理解いたします。で、ここで大きくちょっとBとPで作りが違うかなと思っているのは、B、
3:31:19	の作り方だとこの系統名って今呼んでいる我々の話じゃないんですけど、こういうものを何か細かく作って、それを、これとこの形とこの形とこの形を使ってやるみたいな記載。
3:31:31	本日は、
3:31:33	多くの条文で見かけます。
3:31:35	我々PDPの方とか泊の書き方としては、
3:31:40	例えばここで言う、
3:31:42	代替注水系っていうものを、他のところでも使えますって言っても、別にその集積っていう呼び方を持ってこないでその時に改めてこの設備とこの設備こんなちょっと同じものを連ねるような、
3:31:53	整理をして、これが我々のSAの手段ですという作り方をしています。だから、女川の場合はSAの手段は手段手段B。
3:32:01	これを組み合わせて、
3:32:02	要求してるものを焚いてますって言うんですけど我々取材として度同じものあっても、AとBの構成するもの設備をダーツとまた書き直してこれは新たなSA手段ですっていう書き方をしています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:32:14	だから、まとめ方の違いと言われればそうですし、合わせられないかと言われれば、
3:32:20	合わせられないものでもないんですけども、もともとS Aの対応手段の、
3:32:24	作っていくときの、
3:32:27	考え方がちょっと違っているのかなというところは感じております。
3:32:47	規制庁アキモトとりあえずは検討していただいて、
3:32:53	今のその整理だったら、炉の炉型の違い以外のものは入れ込んでるものをやる、やるんだっていう方針に、
3:33:03	沿った上でやっていかないといけないんで、
3:33:07	それでちょっと検討していただいて、食う
3:33:12	しかないかなっていうところですね、データがどうしても。
3:33:16	何か変えなきゃいけないん。
3:33:19	なくなるなんていうんでしょうその設備的に変えなきゃいけないみたいなことはありえないと思うんですけど。
3:33:26	整理の仕方だけのところは入れ込むっていう整理でやって、1回やってもらえば、
3:33:33	いいんじゃないかなと思うんですけど。
3:33:35	それができないところは、
3:33:40	要素っていうか何か
3:33:44	はい、北海道電力田口です。
3:33:46	今お話してる趣旨は理解しました。
3:33:49	で、我々としてはもうこれでS Aの対応手段の手順とかまで全部組み立てているので、そこが分割した手順二つの組み合わせで、この手順をやるんだよみたいなのところまではねていくと大変だろうと思っているところがあって、
3:34:08	今まで作った、せっかく作った手順が全部組み直しなる可能性もあったりしますので、全部とは言わないですね。
3:34:22	北海道電力古谷でございます。ちょっと物もなく資料もなく、ご説明するのはちょっと大変申し訳ないんですけども、
3:34:31	例えば
3:34:33	海からですね送水ポンプ車っていう可搬型のポンプ車を使ってくみ上げて、原子炉に来注水する手段というのを、
3:34:44	技術的能力の1.4と47条で、整理をしています。
3:34:50	で、我々はその海から取水して原子炉へ注水するところまでを一つの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:34:57	手段として1.4にすべて記載をしてるんですけども、女川さんだとそこ1.13の部分と、
3:35:08	建屋内からのジュース原子炉への注水の部分を1.4に書き分けてるような、
3:35:16	ちょっと分析もちょっと私の分析も足りないのかもしれませんがそういう分類分なんですかそういう構成を、
3:35:24	されているところもあって、
3:35:27	そこで、
3:35:30	合わせ込もうと思えば合わせ込めますけれども、なかなかちょっと最初、当初の
3:35:37	作成の作りからちょっと違うところもあって、悩ましいなというふうに思っている。
3:35:44	ところです。
3:35:50	規制庁の木本です。とりあえず、ここで方針決めても受種なんですよねこれ相談されても、しょうがないのでまず、どういうスタンスでやっていくのかっていうところがぶれないような資料で、
3:36:04	作っていただければいいのかなと思いますので、ちょっとご検討いただければと思います。
3:36:32	切れちゃうアキモトですアノ中で相談します。ちょっとお待ちください。
3:40:43	規制庁秋本です。では、再開します。
3:40:47	そうしましたら、
3:40:51	何か、
3:40:53	その他、
3:40:55	あるかという、あまりなくて、
3:41:02	54-17なあ。
3:41:08	頭にパラメーD、直線状か。
3:41:15	大岩直線上及び入ってきて、泊は直線上はなくてっていうところってというのは、
3:41:25	何か理由が、
3:41:28	そこそこ。ごめんなさい。
3:41:30	噴霧状に広範囲放水を想定しているため直線上だ直線上ってというのは、ないってことなんですかね。
3:41:38	北海道電力のイチタニです。放水砲の使い方として、燃料取扱棟といいますか、燃料、使用済み燃料ピットの建屋ですね、放水する場合、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:41:51	と、原子炉格納容器に向けて放水する場合と同じ機材同じ放水設備を使ってやりますけれども、
3:41:58	原子炉格納容器をねらう時は、高さがありますので、直線上放水で、放水をする、
3:42:08	ことにしています。燃料取扱棟は高さが高いのでどちらかというと噴霧場の放水をすることにしています。今こちら 50 条ですので、直線状という書き方はしておらず、
3:42:22	55 条で、今度原子炉格納容器に向けて放水するっていう部分書くときには、直線上っていうふうに記載しています。
3:42:33	ただ、直線とを踏む、選んで、抱えてやることのできる設備ですので、書くことができます。
3:42:44	はい。
3:42:55	規制庁脇本様、そこもちょっと整理した上で、検討していただければいいのかなと思うんですけど、別にアノと、とりあえず書けと言ってるわけではないのでただ事実確認をさしてもらったところです。はい、わかりました。
3:43:15	等は、その他、何かございますでしょうか。
3:43:21	審査官。
3:43:24	じゃあ、そしたら 54-29 ページ、ちょっと金を教えていただきたいに近いかもしれないんですけど、これは、
3:43:35	監視カメラなんですけど、2 行目校正ができる設計っていうところなんですけど、校正で何かあれでしたっけ温度校正とかをされる、何かあれですか日朝サーモンみたいなので見てるんでしたっけ。
3:43:50	そこちょっと教えてもらう。高校生のんか何かやり方つつうか、考え方、何を構成する商店じゃないですよ。
3:44:00	あそこは詳細確認させていただきたいと思います。北海道電力イチタニです。ただ赤外線監視カメラ、
3:44:09	になっていまして、御動も何ていうんでしょう色で見れるような作りにはなっておりますが、そこは詳細は確認させてください。
3:44:21	はい、わかりました。赤外線カメラだったらそういうことなのかなとは思いますが、これ、例えばこれで、女川に合わせ込みましたっつて構成。
3:44:33	ていうのを消されちゃうと困るなと思って一つちょっと、これは構成ができる設計とするっていうのは先行 P からやってきてるってことであれば、これは入れ込んだ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:44:44	ということで、全く問題ないと思われまして。
3:44:49	いうところですね。はい、そう、大丈夫だと思うんですけど。はい。ちょっとここ、
3:44:54	女川になかったの
3:44:57	ちょっと話そうかなと思って資料を見てみたら裏側かこのカメラ。
3:45:03	という記述がどこかにございました。で、泊が多いもそうですけども、赤外線
3:45:10	でも見れるカメラになってございます。はい。
3:45:15	規制庁秋本です。承知しました。設備の違いということで整理ができるってことですね。はい。わかりました。
3:45:26	規制庁アキモトです。そうしましたら後は、
3:45:31	図面の方にいってもいいですか。
3:45:42	規制庁アキモトですます別にあれなんすけど 54-31 ページ、もう、
3:45:49	ずーとして、
3:45:53	どうするかなっていうのはあるのかもしれないんですが、何か、
3:45:58	足りないものがあれば書くような方向なのかなあっていうのは思って。
3:46:03	たところですけど。
3:46:08	示しているとか言われたらそうかもしれないなというところなんですけど、
3:46:13	ちょっと新たに検討されたやつもみたいなど。
3:46:18	思います。
3:46:19	北海道電力イチャニです 50-31 ページの注水の系統図ですかね。
3:46:27	はい。
3:46:32	サイフォンブレイカー。
3:46:35	いや、サイフォンブレイカーはございますけれどももう、
3:46:43	すみませんこれはあくまでも使用済み燃料ピットへの注水を指名数、系統図とっておりましたので、大井にも書いてないですが、
3:46:56	サイフォンブレイカーは、補足説明資料には、
3:47:01	ありますけれどもねえ。
3:47:04	設置許可、九重って設置許可申請書添付 8 のう。
3:47:09	概略系統図にいくものと思っています。
3:47:15	そこで、ここに書く。
3:47:17	でも BWR は書いてるの。
3:47:22	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:47:26	規制庁ミヤモトですけど、
3:47:30	やはり情報量を入れていただきたい。
3:47:34	これは今までの経緯があっという情報量、だんだん増えてきたって いうところがあるので、それを踏まえた図にさせていただかないと、はい。 元には戻ってか、古いバージョンに戻り、戻るわけにはいかないの でそこはよく確認していただければと思います。
3:47:51	はい。記載範囲、検討いたします。
3:47:59	はい規制庁秋本です。私の方からは以上ですが、何かほか、あります か。
3:48:06	よろしいですか。副長。
3:48:08	54条はこんなもので、
3:48:14	どうですか。
3:48:15	過ぎて、
3:48:18	協定6時まで。
3:48:20	でしたっけ。はい。
3:48:22	何か手順やりますか。できれば技術的能力なんですけども、SAと同じ ような、今いただいたコメントであれば、我々今認識しましたんで、
3:48:35	持ち帰って検討させていただきますんでそれ以外のところで、
3:48:38	コメントいただくと、大変助かります。よろしくお願いします。
3:48:43	規制庁アキモトとしてわかりました。では1.11位の比較表を出してい ただければと思います。
3:48:59	規制庁秋本です。で、比較表の、
3:49:03	谷津の作成状況のところをお出しを出してもらって、ごめんなさい。
3:49:13	D+整理票ですかね比較表の整理、ステータスし整理表で女川とともに 比較してるやつですけどこれちょっと
3:49:22	単純に、まずは何か、
3:49:25	書かないといけないのが抜けているかなと思ってるんですけどバツから 023、A2Cを4、上から四つ目は、
3:49:33	バツから0にしているのに記載の、何か
3:49:37	右から二つ目の枠に、何も書いてないのは何か。
3:49:42	理由は、
3:49:43	只野抜けですかね。
3:49:49	. 電源構成図っていうところ。
3:50:01	北海道電力古谷でございます。すいません添付資料の1-11-2とかで すよね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:50:10	バツから0にしている。
3:50:13	けれどもその理由が記載されていないということで、
3:50:17	アノというご指摘でちょっと
3:50:19	記載、
3:50:21	漏れなのかちょっとすみません、確認させてください申し訳ございません。はい。この辺りもすべて
3:50:29	わかるように、反映修正したいというふうに思います。
3:50:35	規制庁脇本です。わかりました。とりあえず何か何て言うんでしょうこれ。こういう、これもまたチェック漏れ。
3:50:42	なんじゃないかなと思っているので、何か。
3:50:46	なんていうんでしょうその際品質を保つためにチェックを。
3:50:50	ダブルチェックはやられているルールっていう理解でいいんですかね。
3:50:57	はい。北海道電力古谷でございます。
3:51:00	添付資料の中身まで確認いたしまして、女川さんの審査で
3:51:08	衛藤最新の審査の知見として必要なものは、納付充実させたというふうに思っております。例えば
3:51:20	泊の添付資料の1-11-23という解釈一覧についてはですね、これまでのPWRの審査ではこういう添付資料はなかったんですけども、
3:51:33	例えば数は手順着手の判断基準ですとか操作手順で不明確な
3:51:43	もの、雨水の数値が入ってないとかですねそういうものについては、
3:51:48	女川さんの資料を見ながら我々も新規作成したところもありますので、しっかり見たつもりでございます以上です。
3:51:58	規制庁秋本です。わかりました。じゃあ、この表の4段目が、ただ単純に入ってなかったってだけなんで。
3:52:07	チェックする方もうちょっと、
3:52:09	提出する前に、今いま1度見ていただいた方がいいかなっていう感じです。ちょっと本見数が、
3:52:18	多いっていう言い方しちゃうと失礼かもしれないですけどああるので、気をつけていただければと思います。はい北海道電力の藤田でございます。
3:52:27	本来ちょっと私がチェックしなきゃいけないかったとお出しする前に、最終チェックしなければいけないんですけどもちょっとそこまでしっかりチェックできてなかったと反省してますんで、以後気をつけます。
3:52:40	規制庁の木本ですわかりました。では、取りまとめした資料は、
3:52:53	基本的には今大井と泊との差分で書かれていて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:53:01	すねと。
3:53:05	はい。では
3:53:07	中身を、
3:53:10	北井伊東。
3:53:13	取りまとめた資料の6ページですけど、
3:53:18	三野さんで、差分が、
3:53:24	1は、発電対策本部長がいて、
3:53:29	ちょっとこのゾーン、本文見ていかなきゃわかんないのかもしれないんですけど、ここで何か、
3:53:37	発電所対策本部長まで書く必要があるのかどうかはちょっと微妙かなとは思ったんですけどこれ書いてあったんで、何か、
3:53:45	ここって何か補足説明とか、
3:53:48	泊だけじゃなくて別にこれって、他社も別に発電貸借対策本部長なんか入れてないですけどとかそういうことなんですかね。
3:53:58	はい。北海道電力の古谷でございます。
3:54:02	少し差異理由が不足しているかなというふうに思っておりますけれども、
3:54:08	大井さんの手順、実際の手順とかを見て、いくとですね。
3:54:16	支持する主語とかの、操作する要員我々も書いてますけれども、
3:54:25	江藤発電所対策本部長が指示をして、準備させるという手順がありますが我々はそこが、
3:54:36	発電課長当直が指示をするということにしております、
3:54:44	そのあたりが取りまとめた資料の8ページの
3:54:54	0一番上のところの欄の、
3:55:00	2ポツ目のところに少し触れておりました。
3:55:04	当発電所所、我々の方は、2行目に、発電所対策本部長へ依頼したい発電所本部長から、
3:55:14	指示する手順はこの1. 1日にはないのであんま書いてないということなんですけれども、そういう手順の違いが
3:55:22	この先、出てくるかなというふうに思います。以上です。規制庁秋葉です。わかりました。
3:55:30	では情報。
3:55:32	1-11の一井に行っちゃってよろしいですか。はい。
3:55:39	だから、あとは、これも

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:55:41	どんだけ、最新知見に合わせるかというところにもなってくるのかも申しんないですけど、
3:55:50	目次ベースでも、昆、差分が出ているので、
3:55:56	ここは、
3:55:58	多分今までの方針通り、
3:56:02	いくのかなというところですかねまた変わったところが変わったものができた時点でまた見ていきたいと思うんですけど。
3:56:11	基本的には、
3:56:15	そうっすね、ちょっと。
3:56:18	ちょっとまた今後作業してもらってからっていう感じかもしれないですね。はい。
3:56:32	はい。
3:56:34	少々お待ちください。
3:57:20	規制庁秋本です 1-11-12 ペイジーで、ちょっとこれは聞いておきたいだけなんですけど、
3:57:33	衛藤泊、すいません、女川ってホースの何ですかね、使うものなんか、
3:57:40	確かベンドバーまで書いてたかもしれないんですけど使うもの全部入れてたと思うので、これも合わせるっていう方針になるのかなと思うんですけど
3:57:54	そういうことんでいいですかね。
3:58:01	どうぞ北海道電力田口です。
3:58:04	今の、
3:58:06	バルブとかまで書きますかという件なんですけれども、
3:58:11	技術的能力というものは、やはりものを、
3:58:15	動かすというあたりのところだと。
3:58:19	まず理解をされていて、
3:58:21	ここの、
3:58:23	SFPのところと全部可搬型の設備で組み立てていくので、
3:58:26	ちょっと微妙といえば微妙なんですけれども、これが、
3:58:31	何て言ったらいいんだろう。
3:58:32	配管とかは特に、
3:58:35	まずさわるものではないとコースだと、対策要員の組み立てに行きますけど、
3:58:40	そういう配管みたいなどころまで、この技術的能力側で記載すべきかというところは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:58:47	かかっております。そういうものを拾うのが、許可基準が要求している重大事故等対処設備として拾いなさいと言ってる側で、
3:58:57	能動的に動かしにいかないものを拾って、
3:59:00	機能を確立する設備を全部拾い上げていくのではないかという理解だったんですけれども、
3:59:06	BWの方見ると、
3:59:08	なぜ技術的能力でこんなに
3:59:10	変えてしまうんだらうというところは、
3:59:13	ありますので、
3:59:16	規制庁アキモトで多分使うものを全部ノミネートするっていうところだったんじゃないかなとは思ってますけどもし
3:59:25	機材の仕方とかはわからなければなお、東北電力に聞くとか、そういうことをやっていただいてもいいのかなと思うので、はい。
3:59:34	ご検討いただければいいと思います。
3:59:50	規制庁宮本ですけど。
3:59:53	ちょっと考え方変えられた方がいいかなと思っていて、
3:59:58	今最新プラントの知見に合わせましょうっていう考え方で今やってるんですよね。
4:00:05	であれば、最新プラントでなぜこれを変えたかっていうのは事業者が自分で確認して、
4:00:11	必要性が例えばそのBWRの先行の柏崎なり、
4:00:16	女川なり島根なりの中で、
4:00:20	そういう、例えばその話があって会合なり何なりで書くことになったのかちょっとよくわかりませんが、それを確認した上で、
4:00:30	判断されるべき問題であって、これは我々Pのときはそういうルールでしたとか、そういう話を今ここの話では多分なくて、もともと事業者の方で、
4:00:41	今言われている、先ほど言われてるように最新知見に踏まえた記載を適正化しますという宣言を我々受けてると思っているんですけど、その認識っていうのは、我々と認識は違ってるんでしょうか。
4:00:57	斉藤電力、田口です。今おっしゃられてる最新知見を反映するということの認識は、
4:01:03	同じです。
4:01:05	ただ先ほど
4:01:07	確認が不足しているという指摘を多数受けてますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:01:11	記載のレベルを合わせるといところでどこまでの記載っていうところってというのは、実はあまり知見という認識はありませんでした。正直に言います。
4:01:21	ではなくて技術的に何か大きな差がある考え方とか、
4:01:25	成立性とかを説明する上で必要なものが抜けているっていったところがあれば反映するといった感じで最新の知見を見てきていたというのが実態です。
4:01:35	原子炉規制庁の宮元ですけど、それは泊のホクト前泊とか北海道電力に持ち帰ってよく確認してください。去年、これを出し直した段階で、その話はすべてしてるはずですよ。
4:01:48	今ここにおられる方も、
4:01:51	聞いてますよね最新知見、要は、比較表を持ってこられた時点で明らかに違いますよねという話をして、
4:01:59	最新知見に最終的に合わせたものを持ってきてくださいと。
4:02:03	合わせる方向を事業者が示してるんでそれに合わせた方向で持ってきますんでって言って1年かけて、
4:02:10	提出されたという認識なんですけど、そこは違うという方なんですか。
4:02:23	すいません。北海道電力石川ですけども、合わせ込み、あと比較表作成範囲の、その認識についてちょっとレベル感
4:02:33	がちょっと違ってたっていうところはあるかと思います。私どもですね図今の図面の話でいきますと、
4:02:41	説明に出てくるようなバルブとか、そういうものが、図にあることと、表の記載と合っていればいいっていうそういうレベルでいて、
4:02:51	その図面の違いバルブの表がさ、表現されてるかどうかの違いっていうのは、我々が勝手にそう考えてしまったのかもしれないんですけども、女川の方が、嘘そこまで説明出てきたから載せてるんだらうっていう判断のもとで、
4:03:06	そういう違いが生じてるんだっていうふうに解釈して、そのように対応してきたんだというふうに理解してます。ただ、ただ、そこも、今宮本さんは、そういうふうに解釈するだけじゃなくて、
4:03:19	違って理由をしっかりと女川に確認した上で持ってきてくれっていうふうにおっしゃってるんだというふうに受けとめました。
4:03:25	はい。
4:03:27	要は我々はそういうふうにして事業者の方でよく調べた上で我々これができるようになってるっていう認識に立っているんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



4:03:36	もう我々が調べるというわけではなくて、それを事業者みずから調べた上で、この記載がなぜこうなってるのかっていうのを確認して、
4:03:46	我々に説明していただいて、同等であるというところまで説明していただかないと、我々がそれを調べる立場じゃないですからね。いや、そこは認識合ってるでしょうか。そこは承知しています。ただちょっと
4:03:58	タグチがちょっと申し上げたかったのは、先ほど私が補足したようにです、そのバルブのアノの詳しさとかどこまで載せてるかっていうことに関しては、そういう違いだろうと我々がとして、そのを解釈して、
4:04:11	認識してここでお持ちしてるということでもあります。ですので全然そこは、違ってるもの違ったままでいいというふうに思ってたということではございませんので、そこはご承知おき、ご理解いただければというふうに思います。
4:04:26	規制庁宮ですわかりましたその辺踏まえて、今、これから多分作業かかられるのでよく確認していただければと思いますのでよろしく願います。
4:04:41	規制庁アキモトです。あと、もう、あと1点だけなんですけど、1、私からは1点だけなんですけど1-11-23 ページを開いてもらって、
4:04:52	でもいいですか、1-11-23 ページ、23 ページです。
4:04:58	一つ気になっているというか教えて欲しいのはそのcのすゲーム添操作の成立性で、中操は運転員1名でボタン押すだけ1名でよくて現場運転員1名って書いてあるんですけど、
4:05:18	多分なんですけど、すいません現場の作業員で安全管理のために1名っていうのって、何かあったのかちょっとすいません私の記憶
4:05:30	で大体二名ってなってたんじゃないかなと思ってるんですけど、何かあれなんですけど、現場で1名で、本当にそう考えているんですか。
4:05:41	ていうところをちょっとお聞きしたかったんですけど。
4:05:52	はい。北海道電力古谷でございます。衛藤。他にも現場員が1名で対応するというのは幾つかございまして、
4:06:07	1人の単独作業がどういうものがあって、それは当然訓練とかも行ってですね、実施、
4:06:18	時間までにきちんとできることは確認してますし、
4:06:24	不測の事態のことも、例えばけがをすとかそういうことも踏まえてというご指摘かなというふうに理解をしているんですけども、そのあたりを、技術的能力の1.0、添付資料で少し整理をしまして、
4:06:40	2017年の審査の時にも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:06:44	同じご指摘をいただいて資料を作っている。
4:06:50	ものもありますのでちょっとその辺りでまた1.0の共通事項の方でご説明していきたいなと思いますが、いくつか単独で現場、
4:07:03	作業しているものっていうのはありますただ、
4:07:06	運転員とか、限られた要員の中で、例えば、
4:07:14	ものすごく作業が複雑なものは当然複数確保しますけれども、
4:07:21	運転員とかという要員とか単純作業とかそういうものは1名でやっているという、現状でございます以上です。
4:07:32	規制庁秋本ですそれはじゃああれですか。新審査会合でも説明をされているってことですかすみません。その方は、私が見ていくことがないだけなんですけど。
4:07:42	すみません北海道電力古谷です。審査会合ではなくヒアリングの場でですね、欠席をいただいて、資料化したという経緯でございます。以上です。
4:07:53	規制庁アキモトそうすると一。本当に、
4:07:58	安全か、いや、1000、先行で全部私見たわけじゃないからな。はっきりしたことは言えないくて申し訳ないんですけど、
4:08:07	現場に行く人、
4:08:11	何て言うんでしょう、これ、安全管理上の問題になるかもしれないんですけど、
4:08:16	なんで、1人でいいのかってところわあ、
4:08:20	その資料を見てからになるのかもしれないんですけどどう大丈夫かなっていうのが図これは全然指摘とかで何か感想ではあるんですけど。
4:08:33	そういった観点でも見ているのかどうかは、きっとまた資料があるのかもしれないので、その時に説明していただいてもいいんですけど。
4:08:42	本当にそれでいいのかってところワー
4:08:46	検討され、十分検討されているっていうことですか。
4:08:54	北海道電力古谷でございます
4:08:58	1.0の方でまたご説明させていただきたいなと思いますけど例えばその屋内のアクセス、
4:09:07	ほぼ屋内作業なんですけれども、屋内のアクセスルート等の
4:09:14	成立性というか、そういう観点でも、その現場の操作、
4:09:21	場所のですね、環境とかですねそういうところも一応確認をしながら、1名でも操作作業ができるということ等も、
4:09:33	確認をしている、いますのでそのあたり少しまた、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:09:41	1.0の方でまたご説明したいなというふうに思い、思います。はい。
4:09:46	規制庁秋本ですとりあえずは、またその資料が見れる時ってことになるかもしれないんですけど、確か。
4:09:53	Bの審査の時に、
4:09:59	どの審査なんかは言わないですけど何かちょっと明確に、現場作業1人っていうのは有り得ないだろうっていう指摘をされてたと思うので、
4:10:10	その審査会合を踏まえてもう変えなくていいっていうスタンスであるのかどうかは、
4:10:17	今一度検討していただきたいと思いますけど。
4:10:24	北海道電力古家でございます。了解いたしました。した者の審査会合等も踏まえて、説明をいたしたいと思います。以上です。
4:10:39	規制庁アキモトですその他よろしいですか。
4:10:44	じゃあ、
4:10:45	もうあと5分しかないので、
4:10:48	ここ、この辺で終わりに、
4:10:51	志田伊奈と指名をしていきたいなとは思いますが、よろしいですか。
4:10:56	はい。
4:11:02	規制庁のアマノです。ちょっと今日のやりとりちょっと伺っててですね、
4:11:08	説明の中でちょっと作ったのが古いのですとか、今ちょっと説明できないので、
4:11:17	ちょっと持ち帰って回答しますとか、
4:11:20	ああいうのがちょっと多かったような気がしてですね。
4:11:24	あと
4:11:28	最新の審査実績を反映したまとめ資料を、
4:11:33	作成して、
4:11:35	担当、作成担当者及び責任者が、
4:11:38	改めて確認した上で提出いただいたと、いうことなんですけど、ちょっと我々の
4:11:45	イメージしてるやりとりに十分になっていなかったんじゃないかと、いうふうに思ってます、
4:11:52	あくまでこれお互いに審査を効率的に進めるためということで十分な準備をしていただいた上で、これだけの方集まっていたいですね。
4:12:03	個別の内容に、をお聞きして一部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:12:08	中身の回答はできたものもあるかもしれませんが、多くのものは、
4:12:13	ちょっと古い話なのでというのは、
4:12:15	多かったような気がしますので、
4:12:17	ちょっとそこは改めてですけど効率的に審査を進めるために、
4:12:23	少なくともなんていうんですか。
4:12:25	ヒアリングを設定して、
4:12:27	我々その事前に提出していただいた資料を読み込んだ上で、
4:12:31	具体的な個別の内容についてお聞きして、この場ですね、
4:12:38	長い時間をかけてお聞きしてるわけですから、
4:12:41	その内容について答えられないものももちろんあるかもしれませんが、 ちょっとそれが多すぎたのかなと。
4:12:47	いうふうに思いますので、
4:12:49	ちょっとしっかり準備していただいた上で効率的な審査ができるよう に、ぜひお願いしたいと思うんですが、いかがでしょうか。
4:13:02	北海道電力石川です本日いろいろ、多々ですねご指摘いただきました。 今日いただいたご指摘、改めてちょっときっちりですね受けとめてです ね、
4:13:13	最新の時は審査実績反映した資料で、また改めて、こちらに臨みたいと 思っております。古い話なのでとか、あとそれから、今説明できないの で持ち帰って検討するっていう反応が多かったっていうことです。
4:13:26	また、しっかりですね支社に帰ってですね、今日の反省事項を、次回以 降に反映していきたいと思います。
4:13:36	はい。よろしく申し上げます。以上です。
4:13:41	その他、よろしいですか。事業者の方からも、
4:13:45	よろしいですか。
4:13:57	はい。北海道電力は特にございません。
4:14:00	今。
4:14:01	と本店の方は良いですね。
4:14:03	消えてるな。
4:14:05	画面が消えてるだけですか。
4:14:08	北海道電力本店からです。特にございません。以上です。以上でござい ます。はい。以上でヒアリングを終了したいと思います。お疲れ様でし た。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。